大正九年十一月廿四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 四月十七日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 一ケ月拾五錢(稅)
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話〔編輯局專用(3)三二三五 營業局專用(3)三二〇〇〕
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

冀東政府滿洲國と相互協定の道を求む

殷長官からの懇篤なる書翰

併せて答復を希望す

昨日外交部大臣に手交された殷政務長官の書翰全文は左記の通りである

拜啓曩に貴滿洲國は暴虐軍閥の惡政を排撃し五族協和の實現、王道樂土の建設を標榜して獨立を宣言し外は友邦と團結し内は帝制の實施を完り今や國基益々鞏固に國運愈々隆盛なるは眞に感佩に堪へざる所にして東亞の先覺國と稱するも決して恥づるところなし、我冀東は民衆久しく黨政の害毒に苦しみ、又共禍の侵犯に戰きたるが、客歲敢然として蹶起し黨治より離脫して防共自治政府を組織し不肖民意に從ひ政務長官の職に就き全區の軍政事宜を總攬す、其の期する所は永く黨治共禍の毒焰を防止し民衆全般の福祉を增進し範を塗炭に苦しむ中華民國各地の國民に示し其覺悟を促さんとするにあり

惟ふに貴國と我冀東とは固より接壤しその密接關係は脣齒も啻ならず、殊に東亞に於る平和確立民族繁榮の大計は日滿支三國の協力を必要とし之が實行は正に貴國と我冀東に於て缺けたるべし、よつて玆に修聘の爲め本政府より秘書長兼外交處々長池宗墨等を新京に派し貴大臣に面謁して本政府の貴國に對する懇篤なる友好の情を披瀝せしむると共に貴我の協和の方法を協議せしむ、冀くは貴大臣之と接洽の上誘掖指導を與へ進んで將來或は防共の必要に應じ或は民生の利益の爲め相互協定の途を開かれん事を切望す、玆に特に書翰を以て進申し貴大臣の閲覽答復を希ふ

中華民國廿五年四月十日
中華民國冀東防共自治政府
政務長官 殷汝耕
大滿洲帝國張外交部大臣閣下

日、滿、支提携の前途に多大の寄與

＝外交部當局談＝

冀東政府の遣滿使節を迎へた滿洲國外交部では近く答禮のため使節を派遣し外交部大臣の答翰を齎さしめる意嚮あり十七日午前十一時左の如き當局談を發表した

今般冀東防共自治政府から關東軍への表謝並に我滿洲國との修聘交驩の爲使節として池專使一行を特派され、既に昨日使節は關東軍司令官を訪問した上、我國務總理大臣並に外交部大臣と會見し、夫々隔意なき且和氣靄々たる懇談を遂げ、尚外交部大臣には殷政務長官よりの書翰を手交する所あり、今日は皇帝陛下に謁見し、更に此間當國の建設狀況を目睹し、遺憾なく來滿の使命を達成せられた事は正に東亞の歷史に一時期を劃したものと謂ふべきで元來冀東は我國と接壤し唇齒輔車の關係に在り同政府の標榜する所は北支の黨弊共禍を除去し住民の安居樂業を圖り進んで日滿支の提携に依り東亞の和平を確立し東洋精神を宣揚し人類の福祉に貢獻せんとするに在つて我滿洲國の國是と深く相合致し從つて兩者の關係が益々緊密親善に趨くことは固より天命であるが、今回の使節の來滿はこの氣運を一段促進した次第で今や支那本部西北地方に於ける共產軍の脅威が日に增大し外蒙新疆亦完全に赤化の魔手に委し去られんとする此際殊更深遠重大なる意義あることが痛感せられる、斯く今回の冀東使節一行の使命が完全に成功し日滿支提携の前途に多大の寄與を爲したことは寔に慶賀に堪えぬ所でこの機會に滿洲國に於ても近く冀東政府に對する答禮の爲外交部より使節を派し外交部大臣の答翰を齎さしむる意嚮であることを表明する

池遣滿專使

皇帝陛下に謁見

遣滿使節池專使以下六名は十七日午前十時半宮内府に參内皇帝陛下に謁見したが午後一時半より三十分ラヂオ放送をなし、電々會社參觀の後同六時よりヤマトホテルに於る外交部大臣の招待宴に出席する筈である

民政部總務司長後任は知事より詮衡

【東京國通】今回の地方長官異動に際して滿洲國民政部總務司長清水良策氏及びハルビン特別市公署總務處長佐藤正俊氏の内地知事への復活とこれが後任の詮衡は特別議會後に延期の豫定であつたが、十六日夜の協議の結果此際一擧に解決するの方針に決定したので、滿洲國入りの後任者たる知事一名部長級一名を詮衡し、軍部の諒解を求むべく折衝を開始した、而してまだ此方面の解決が着かないため廿一日の閣議で地方長官異動の決定は困難となり結局廿四日の閣議に於て正式決定するものと觀られてゐる

死体引渡しをソ聯なほ遷延

現地機關極度に憤慨

川口中尉ほか兵二名の死體引渡しに關しては既報の如くソ聯側においてこれを承諾し本十七日綏芬河東方第三トンネル東方地區においてこれが引渡しを受くることに交渉成立したところ本朝に至り何等の理由なく日本側に死體引取りの意志なしと稱して前言をくつがへし故意に死體引渡し時期の遷延を計つた、右の如きソ聯側の不信行爲は再三にわたるが、今尚好んで日ソの親交を妨害せんとする如きはソ聯の眞意を疑はれる、爾來日ソ間各種交渉が未解決のまゝ現在に至るもの多きは槪ね右の如き理由による、一方死體に對する禮儀上の點からみても無宗教國家の殘虐なる態度を知るに足るものである、右に對し現地各機關は極度に憤慨し事態の推移は極めて注目されてゐる

樞密顧問官候補者下馬評

【東京國通】樞密顧問官三名の缺員に關しては政府首腦部に於て大體二名を定め廣田首相はこれが人選に關し考慮の上平沼議長と協議決定することとなつてゐるが、結局貴族院議員中より物色することとなるべく候補者として下馬評に上つてゐる諸氏は樺山資英、南弘、勝田主計、菅原通敬、二上兵治氏等である

植田處長靜養

新京特別市公署總務處長植田貢太郎氏は數日前より風邪氣味にて錦町四丁目二七の自宅で臥床中だが、なほ一週間程度靜養の見込である

エチオピアの權益は飽くまで擁護

帝國政府の嚴然たる態度

【東京國通】信ずべき筋の情報に依ればイタリー遠征軍のエチオピア首都アヂスアベバ占領は目睫の間に迫り、エチオピア帝國の運命は危殆に瀕してゐるが若しイタリー軍の國際條約違反の毒瓦斯使用を默認し然かも右の如き事態に至らしめたならば歐洲の平和維持機構の國際聯盟の威信は地に墜ちる譯で此の間果してイギリスが聯盟主義を眞向にイタリー制裁の强化に邁進するか或は如何なる措置のインシアチヴを執るかは暫らく措くも帝國政府としては飽くまでエチオピアに於る權益の擁護には萬全の策を樹て將來起るべき事態に對處する方策をも併せて確立しエチオピア問題の成行を深甚なる態度を以て注視してゐる

征服者として

エチオピアと媾和交渉せん

伊代表事務總長に要求提出

【ジュネーヴ十六日發國通】イタリー代表アロイジ男はロツク政務局長を同伴十六日午前十一時新聯盟會館に於て十三人委員會議長デ・マドリアガ氏、アヴノール事務總長と會見を遂げたが席上ム首相の訓令に基き次の强硬要求を提示した

一、伊エ兩國政府は直接媾和交渉を遂げ第三者の介入を排除す、聯盟はオヴザーヴアーを交渉に出席させる事が出來るが交渉自體には參加せず

一、イタリー政府は征服者の立場に立ちエチオピア政府を被征服の地位に置いてム首相の提示する媾和條件に基き交渉を遂ぐ

一、イタリー政府は媾和交渉の完了まで戰鬪行爲を停止せず

エ國代表は媾和交渉案一蹴

【ジュネーヴ十六日發國通】イタリー政府の媾和交渉案は十六日午後十三人委員會議長マダリアガ氏よりエチオピア代表マリアム公使に通牒されたが、エチオピア代表は即座に右提案を一蹴した、斯くして和協工作は忽ちにして決裂に歸し國際聯盟は聯盟原則を堅持して制裁案の擴大强化を決定するか、イタリー軍の侵略行動を默認して理論上の自殺を遂げるか聯盟史上空前の破局に逢着するに至つた

廿一日羅馬建都祭に首都陷落を期す

伊政府非公式に語る

【ローマ十五日發國通】十三人委員會が聯盟の對伊制裁强化か撤去かの重大問題の討議を前にして盛んに聯盟の危機が傳へられる折柄バドリオ元帥麾下のイタリー軍は長驅デッシエを陷れ自動車挺身隊を進撃して一擧に國都アヂスアベバに雪崩れ込まうとしてゐる、斯かる事態はイタリー政府の態度を益々强化せしめつつあり政府はアヂスアベバ陷落までは如何なる和平交渉にも斷じて應じないとの決意を固めたものゝ如く十五日午後非公式に左の如く語つた

アヂスアベバ陷落が目の前に控へてゐるのに今更急いで和平交渉を開始する必要は絶對にない、恐らくアヂスアベバ入城は四月廿一日ローマ建都祭前後のことゝならうが今年こそはイタリーは擧國此の記念日を祝ふことであらう

植田軍司令官

在京部隊の初巡視

植田軍司令官は本日午前八時より關東憲兵隊司令部、警備司令部、飛行隊その他在京各部隊の初巡視を行つた、午後四時巡視終了の豫定で、明十八日は午前九時より午後三時半に至るまで南嶺部隊、衛戍病院その他の巡視を行ふ筈である

來栖大使

各方面に挨拶

赴任の途十六日來京した來栖駐白大使は十七日午前九時半新京神社及忠靈塔に參拜し、同十時宮廷府に參内皇帝陛下に拜謁を賜り正午には守屋參事官々邸における大使館主催の歡迎宴に臨んだ、なほ午後二時より國都の建設狀況を視察、國務院に張總理、外交部に張外交部大臣を訪問挨拶を述べ同三時より軍司令部に於て軍幕僚と懇談、五時半より官邸で植田大使と會見後植田大使主催招待晩餐會に出席の筈である

遠藤元廳長等勅選候補に

【東京國通】勅選議員の缺員が九名に達してゐるので政府としては特別議會前にその一部を補充すべく目下人選中であるが今回の補充では約六名位を限度とし他の三名位は殘して置く方針で、岡田内閣からの引繼ぎ分として小原前法相、白根前書記官長、大橋前法制局長官の三名は動かぬ所とされ、吉田調査局長官は多分次回に廻されるものと見られる、其他の有力候補者は次の如し

澁井英吾　結城豐太郎　遠藤柳作　中川健藏　有吉明　下村宏　法學博士 伊藤次郎左衛門

武者小路大使新京發赴任

十五日來京國都各方面の視察を終へた駐獨大使武者小路公共子は十七日午前九時十分發列車で板垣參謀長、矢田參議、林出書記官、守屋參事官、筒井宣化司長、中野總領事代理等多數に見送られハルビン經由赴任の途に就いた

人事往來

▲武者小路公共氏(駐獨大使)十七日午前滿洲里へ
▲靑木關東局高等課長 同内地へ
▲古海總務廳主計處長 同大連へ
▲岡田少佐 同遼陽へ
▲和泉少佐(關東軍兵器部長) 同東京へ
▲川本少佐 同
▲間瀬中佐(延吉憲兵隊長) 同延吉へ
▲奧少佐(線區司令部) 同奉天より
▲久米少佐(新京憲兵隊本部) 同吉林へ
▲中内正男氏(官吏)同市内へ
▲原田備一氏(國産電氣)同公主嶺へ
▲藤田茂雄氏(同)同
▲神村鶴雲氏(電業公司齊市支店長)同チチハルへ
▲池田豐氏(軍人)同ハルビンへ
▲後藤安嗣氏(滿洲里領事)同公主嶺へ
▲徳川安氏(日本國産電氣取締役)同
▲上田研介氏(高岡組)同營口へ
▲島田信吉氏(大連汽船)同奉天へ
▲丹澤三郎氏(ゴム會社)同來京國都ホテル
▲米倉清三郎氏(三和ゴム會社)十六日午後ハルビンへ
▲宮副義智氏(同)同
▲米内山庸夫氏(海拉爾領事)同
▲小幡清彦氏(舞踊教師)同奉天へ
▲荒川隆二氏(日本パルプ製造會社)同市内へ
▲林正治氏(鑛業)同奉天へ
▲大熊卓藏氏(大東通信社員)同
▲谷口三郎氏(教師)同四平街へ
▲三溝又三氏(滿鐵)同來京國都ホテル
▲吉田得美氏(同)同
▲筒井彌一氏(請負業)同
▲栗原卯之助氏(會社員)同
▲升巴倉吉氏(奉天實業總務廳長)同
▲田中清藏氏(商業)同
▲增谷憲治氏(同)同
▲直木薫氏(滿鐵)同
▲宮原利男氏(同)同
▲辛島寛太氏(紡績會社重役)同
▲增田千里氏(三機工業)同
▲松尾梅雄氏(本溪湖煤鐵公司)同
▲升重兵淸氏(朝鮮羅津港株式會社)同
▲大田民五郎氏(釀造技師)同
▲靑木貞助氏(滿電奉天支局)同
▲茂森唯士氏(會社員)同來京名古屋ホテル
▲升淵信二郎氏(大林組)同
▲竹下義晴氏(陸軍大佐)同
▲林榮二郎氏(會社員)同
▲杉浦眞作氏(石材商)同
▲宮副彥四郎氏(會社員)同
▲横山幸平氏(同)同
▲二國三樹三氏(三菱社員)同
▲藤堂大藏氏(同)同
▲中薗盛孝氏(陸軍大佐)同奉天へ
▲谷口茂氏(官吏)同
▲小野仲兵衛氏(商業)同
▲安武一雄氏(醫師)同市内へ
▲大西正弘氏(滿鐵)同大連へ
▲宮本源太郎氏(松下電氣)同
▲皆川成司氏(大林組)同
▲桝谷寅吉氏(代議士)同内地へ
▲中島宗一氏(會社員)同來京ヤマトホテル
▲首藤治平氏(同同)
▲金井清氏(同)同
▲鈴木信氏(同)同
▲長永義正氏(大連商工會議所)同
▲坂井源太郎氏(會社員)同
▲來栖三郎氏(駐白大使)同
▲小瀧彬氏(官吏)同
▲船橋甚平氏(商業)同
▲中川喜久彬氏(滿鐵)同大連へ
▲鈴木正吾氏(代議士)同ハルビンへ
▲川井章知氏(官吏)同吉林へ
▲堀透氏(日本製糖工場長)同奉天へ
▲川村龍雄氏(大連汽船專務)十七日大連へ
▲加藤敏彦氏(同新京出張員)同ハルビンへ

團體

▲大分縣立中津商業生六十七名 十七日午前七時來京旭ホテル投宿
▲鐵路自警團三十名 同七時卅五分奉天より同九時五分ハルビンへ
▲延吉小學校職員生徒五十六名 十七日午前七時卅分發列車で吉林へ
▲蛟河自警村員七十名 同十時卅分發列車で蛟河へ

乳房ある悲み

中西伊之助 作　京武久 畫

輝かしき招宴 六 (五十九)

大學へ行く時は、書齋にブラ下つてゐる袴を自分ではいて出て行くのであるが、衣服を改めて出て行つた時は、かへつて來ると、玉汝が世話をして普段着に着替させた。

今日も彼女は兄の居間へついてはいつて、その世話をしやうとしたが、兄ともつれ合つてはいつて來た華代子は、自分の帽子を帽子かけにかけるなり、先になつて齊の大禮服をぬがしはじめた。

『大禮服の簞笥あるの?』

と、彼女はまづ玉汝にきいた。

『いゝえ』

『それぢや困るわねえ、ではすぐ誂へにやりますわ、それまで何か他のもので間に合はせて置きませう、これは他の洋服のやうにたたんでしまつて置いてはだめ』

こんな調子で世話を燒いた。玉汝にもそれくらゐの知識はあつたので、彼女は心の中で苦笑した。

『あなた、さあ、こつちのお手をおぬぎ遊ばせ』

齊の背後へ廻つた華代子はこんな調子で上衣をぬがしたりした。

『は、ありがたう』

といつた容子で、齊は唯々諾々と華代子のするがままに任せた。

『こんなものをお召になると、あなたは全くお立派ね、早くあの眞紅な大綬章をおかけになつたお姿を見たいわ、でももうすぐね』

などと、ひとりで喋つた。

『それにね、あの實家の父がぜひ近い中に一度お目にかかりたいと申してをりますの…それにね、この次の總選擧に立候補されるやうな時には、ぜひ御相談に與りたいつて申してをりますの。その時には父の地盤をお讓りしてもいゝやうな手紙を寄越してゐるんですよ』

『は、ありがたう』

と、齊は同じ調子で答へた。

『何んと申しても、もう大垣なんかは駄目ですわ、これからはあなた方のやうな方でないと充分のお仕事はできませんわ、それではいつ父に會つて下さるでせう、お忙しい處を御迷惑でせうけれど、父はかねがねからあなたの大の崇拜者なんですのよ、これまでにも幾度お目にかかりたい、お目にかかりたいと申してゐたか知れないんでしたの、でも、父は田舍者ですから、あなたのやうな學者の方にお目にかゝるのが氣がひけるつて申してゐたんです。でもね、今度こそはどうしてもお目にかかりたいと申してゐたんですの。それで、こちらへお伺ひしてもいゝんですけれど、それでは却つてお厄介をかけるから、日を定めて、どこか靜かなところで一日お話を伺ひたいと申してをりますの。さうして頂けるなら私、お邪魔にまゐりますからぜひどうかお願ひいたしますわ』

『は、ありがたう』

齊は、五つ紋の羽織袴に着替させて貰つて、胸の紐を結びながら答へた。

『では、この次の土曜の晩はいかがでせう?まだ五日程ありますけれど、餘りお近くてはお役所の御用がおありになるでせうから』

『さあ、この次の土曜と――何しろ、任官匆々で目の廻るほどいそがしいのですがね』

と齊はいつてみたが、華代子の實家といへばその地方の有名な資産家で、今度新しく南洋方面に莫大な投資をして大規模の工業會社を起さうといふ豪勢な新進財閥である。政治家として輝ける第一步を踏み出した齊に、好意のある會見を申し込んで來てゐるのを無下に斷るのは策のない話であつた。彼は先づさう前提を置いたが、少し考へて答へた。

『お目にかかりませう、しかし今度の土曜に差支があれば私の方から日を選擇させて頂いてもいゝでせうね?』

球界劈頭に送る 豪華新京野球戰
參加八チーム新人で充實す
本社主催 第三回新京硬式野球大會

新京球界の劈頭を飾る本社主催第三回新京硬式野球大會は來る廿五日午後三時から南風かほる西公園球場で五日間に亘つて花々しい白熱戰か展開され、本年の出場參加チーム滿洲國舊廳舍軍（總務廳主體）を筆頭に滿洲國新廳舍軍（交通部主體）、中央銀行、電業公司、新京鐵道新京地方部に本年新社員體育の向上と保健のために出場の電々本社、同管理局の二チームを加へての八チームで將に球界の豪華版であるとともに本年は昨年に倍し各チームとも多數の新選手を加へ充實したチームを組織してゐるので試合は興味深いものがある

本社野球チーム 挑戰を待機

本社では野球チームを結成、昨日誕生したがメンバー左の通りで技倆も優秀ロハ丁の朗らかチームであり、「よき敵はないか」と自稱天狗の勢當るべからず、挑戰者は御申込を乞ふ、但し試合は日曜日午後三時よりに限る

（投）井上、（捕）河裾（一）中村（二）和波（遊）近藤（三）中園（左）德永（中）懸橋（右）根本

天長節の 凧揚げ大會場 大同公園前廣場
申込み多く場所を變更

天長節奉祝日滿凧揚大會は各方面に異狀なる衝動を與へ早くも十七日朝から個人の出場申込が續々地方事務所社會係へ持ち込まれてゐるがこの向だと豫定の一千を突破するだらうと係でも大いに期待をかけてゐる、十六日の實行委員會で問題となつた會場については委員會終了後各經驗者が所々候補地を檢分した結果、地理的にも多數觀衆を集める點から見ても最も好條件を備へてゐる大同公園が好適地と決定した、同地は昨年催した納涼大會の廣大な空地で觀衆は公園内の丘で辨當でもひろげて見物が出來るので家族づれのピクニックにも持つて來いの場所である

西公園初日入園料 廿七圓七拾錢
斷然レコードを破る

新京西公園の設備も着々整ひ十六日から例年の通り二錢の入園料を徴收してゐるが初日の入園者は斷然今までのレコードを破つて一千百三十七名、料金二十二圓七十四錢、同數券十冊金額五圓計二十七圓七十四錢で昨年の初日の入園者四百四十三名に比べて約三倍の成績であつた

滿開の櫻…◇東京便り

平康里の 顔役捕はる

山東省生れ住所不定無職蘇占元（三一）は城内平康里の顔役で自分は滿洲國某官廳員なりと稱し屑物商、果物商など無鑑札者を發見次第二圓、三圓をせしめては平康里で遊興してゐるのを新京署井上刑事が十六日午後七時ごろ朝日通りで發見逮捕した、蘇は前科三犯で既に十四件の恐喝を自供餘罪多數あるらしい

宿料踏倒し 徘徊中捕はる

朝鮮全羅南道麗水邑生れ住所不定林徹（二九）は昨年九月から吉野町五丁目一番地愛國ホテルにさる三月二十七日まで投宿したが宿賃百五十三圓十錢を不拂のまゝ行方を晦まし屆出により新京署で手配中のところ十六日午後十時半ごろ三笠町三丁目附近を徘徊中井上刑事に發見逮捕された

郵便局で掏らる

市内日本橋通り八十二番地ノ十硝子煉瓦製造者菊地伴二氏（四三）はけさ十時半ごろ中央郵便局で爲替二百圓を受けとり内ポケットに入れ航空郵便物受附窓口に一寸立止つた間に國幣百圓紙幣一枚、同十圓紙幣十枚二百圓ソックリすられた

特別市功勞者 表彰規程制定
けふ第一回の人選を決む

新京特別市公署では來る十九日の市政記念日を期し市政功勞者を表彰することになつたが、同表彰規程は左記の如く十六日佈告第十七號を以て公布した、なほ右第一回の功勞者人選は十七日午後一時から市公署内で自治委員の參集を求め決定されるはず

新京特別市功勞者表彰規程

第一條　市の公益に關し特に功勞顯著なる者あるときは本市功勞者として之を表彰す功勞者は市長自治委員會の同意を經て之を定む

第二條　功勞者には功勞章及記念品を贈呈す功勞章及記念品は市長之を定む

第三條　功勞章は市の儀式公會等の場合左胸部に佩用するものとす

第四條　功勞者は市の儀式公會等の場合に於て自治委員と同一に之を待遇す

恐喝犯人逮捕

原籍朝鮮平安南道權承賓（二四）同金庚善（二七）外三名は共謀して去る一月六日伊通縣間加屯窯農林某（四〇）宅にいたり「お前は匪賊と通じてゐるから拳銃や長銃を隱してゐるだらう、銃を出せ、さもなくば金を出せ」と恐喝して二百圓をせしめ新京領事館警察署で手配中のところ十六

滿鐵地方施設の讓渡 けふ最後的檢討
讓渡は實質的無償

滿鐵地方施設の讓渡問題は去る十四日の日滿關係者會議で大綱を決し十七日の現地委員會において更に最後的檢討が遂げられることゝなつたが、確聞するに地方施設のうち滿洲國側に讓渡されるものは普通病院、教育施設の一部（日本人學校）産業施設を除くその他の施設全部で讓渡は實質的無償とし日滿兩國政府並に滿鐵三者間において適宜の方法を講ずることゝなつた、なほ讓渡施設は水道、道路、特殊病院、衛生研究所、公學校普通學校、滿鐵社宅、各種造營物等一般行政施設である

國都滿人の抱く 日本智識慾！
訪日視察團締切後も應募 新に第三班を募集

友邦日本の實相並びに櫻咲く春の日本を紹介せんと先般新京驛およびツーリスト・ビューローが新しい試みとして滿人インテリ層に放つた滿人訪日視察團體募集は流石に時宜に適した計畫だけあつて參加希望者以外に多く募集人員大連五十名、新京三十名、奉天十名、開原十名、計百名は既に去る十日を以つて締切つたが殊に新京では振り當てられた定員三十名は締切り前に早くも超過し成績芳ばしからぬ他都市より定員の割讓を受け更に四十五名にまで增員した程だつたが新京では其後もなほ續々と申込み希望者があり主催者側ではこゝに前の第一二班に追加する第三班三十名を新たに募集することゝなつた近く募集要項が發表される筈

新京署衛生係 檢病戸口調査
傳染病を國都から除く

新京署衛生係では各種傳染病その他諸病豫防の萬全を期するため來る二十日、二十一日の兩日全管内に亙つて各戸毎の一齊檢病的戸口調査を行ひ傳染病患者並びに容疑者の有無その他の患者有無及び衛生施設の狀態を調査し傳染病豫防、衛生上の注意を一般市民に促す

僞造貨橫行

最近新京驛において頻々と僞造貨幣が行使され係官を惱してゐる

▲十六日午前八時ごろ一滿人が驛構内出札口で白城子行三等乘車券を購入すべく差出した日本銀行發行五十錢銀貨および十錢白銅貨各一個が出札孃島濱シマ子（十九）さんの烱眼で僞造貨幣なること發見、本人を同行の上驛詰所武智巡査に屆け出た、行使の男は住所長春縣馬家店張海（三十九）で何人より授受されたか判明しないと申立て、無知な農夫のところより犯人でないこと判明

▲十七日午後零時出札係米良豐子（二十）さんが構内自働發賣機より集金の賣上金を計算中其中より滿洲國中央銀行發行一角白銅貨三個および日本銀行發行十錢白銅貨五個の僞造貨幣を發見屆け出た

驛詰所では金錢授受に際しては充分注意されたいと語つてゐる

呼物はリレー 訪日記念大運動會
各機關から參加を歡迎

特別市公署、地方事務所並に協和會三者共同主催の下に來る五月二日午前九時卅分から西公園運動場で開催される訪日宣詔記念運動會では建國體操、マスゲームを中心に大々的に擧行されることになつてゐるが、十六日午後一時から市公署内で開かれた第二回準備委員會の結果、當日の呼物としてリレーレースも加へることゝした、その要領左の通りである

種目－男子八百米女子四百米

參加資格－各官廳、會社、銀行（滿鐵は各箇所）

申込－四月二十二日限り、市公署總務科又は地方事務所社會係

アイスクリーム 行商人取締

新京署では來る夏季の淸涼飲料に就て衛生上又價格の點で例年の通り嚴重取締りを加へる筈で、殊にアイスクリームは前年通り統制を加へ行商人が勝手に製造販賣を禁ずる模樣である

街の日記

大連汽船出張所　大連汽船株式會社では近く市内滿鮮ビル二階に同社出張員事務所を開設することゝなり十六日事務取締役川村龍雄氏、出張員として駐在する社員加藤敏彦氏來京、十七日挨拶に來社した

植樹節の式典　實業部、新京特別市、新京地方事務所、國都建設局主催で來る二十日午前十時から南嶺綜合運動場で植樹節式典が擧行される、式次は

一、開會の辭、董市公署行政處長
一、國旗揭揚（日滿國旗）奏樂
一、國歌合唱（日滿國歌）奏樂
一、主催者挨拶丁實業部大臣韓特別市長、武田地方事務所長、鄭國都建設局長
一、來賓祝辭、張國務總理、中野新京總領事
一、植樹節歌合唱奏樂
一、閉會の辭、董特別市公署行政處長

右終つて各記念植樹を爲し記品を頒ち散會

國婦評議員會　大日本國防婦人會新京支部第二回評議員會は十三日開催役員其他評議會議案を全部可決し事務所の移轉は研究調査の上後日決定することゝし閉會した新役員は左の如くである

▲事業係主任高山八十八、同副赤木常磐、同林出愛子▲庶務係主任岩坂寧子、同副佐藤輝子、同淸水初代▲會計係主任石崎春江、同副中野貞子

觀音會法要修行　明十八日午後一時より市内曙町大正寺に於ては例月觀音會法要修行法要後曹洞宗大本布教師佐藤透關師の講演あり御來聽歡迎

山本畜犬病院移轉　從來入船町四丁目に在つた山本畜犬病院主山本久一郎氏は先般來業務擴張の爲ダイヤ街扇芳會館前に開業準備中の所漸く設備も完備し移轉開業した

あす（十八日）

△來栖大使 北上、午前八時（航空機）
△電業營業會議第二日
△津田政□氏講演、午後六時半、公會堂
△軟式野球主將會議、正午、文教部
△新京競馬第一日、午前十時より
△例月觀音會法要修行、午後一時大正寺

◇…今晩の主なる演藝放送…◇

▲七・〇〇 一、「齊唱」ピアノ伴奏 江見壽夫 二、「齊唱」（滿語） 三、「詩吟」篠崎軍吉 四、「獨唱」石黑德子 五、「俗謠」▲七・五五 講談「逸見貞藏」（東京へ）神田ろ山

新京特別市始政 三周年記念

來る十九日午前十時半から新京特別市自强街市立自强小學校で新京特別市始政三周年記念式が盛大に擧行される、式次は

一、開會の辭　董行政處長
一、主催者挨拶　韓特別市長
一、來賓祝辭　民政部大臣呂榮寰、新京總領事中野高一、新京自治委員會長王荊山
一、市政功勞者表彰式ならびに市公署勤續者表彰
一、萬歲三唱董處長の閉會の辭

伊旅客機墜落 乘客七名即死

【ミラノ十五日發國通】トリノ、ミラノ間の定期航空運輸會社旅客機一臺は十五日惡天候のためトリノ附近で墜落大破乘客七名は即死した

涉外係長歸任

新京地方事務所熊埜御堂涉外係長は本社と事務打合せのため出張中のところ十七日午前八時五十分着列車で歸任した

藤波會と勢好會 春のおさらへ
五月一日二日夜公會堂

藤波會の藤間勘太郎、勢好會の杵屋勢七郎兩師匠の主催大新京料理店組合有志、新京三業組合後援の第三回溫習會が來る五月一日と二日の兩夜公會堂で開演する、何しろ附屬地内ダイヤ街に亙つての主なる料亭の美妓連が伎藝を研くおさらへであるから、その力瘤の入れ方もすばらしく又かくれたる御贔負筋の支援もあり愈々となつたら例によつて盛會を呈することであらう、ちよつと番附を瞥見すると初日南海の操三番、同五郎、住吉の淺妻船、すみれ扇芳亭の三社祭、曙の楠公、開花の通獅子、やよひの落人、新杵の釣り女、曙の巽八景、同く鞍馬獅子、扇芳亭、すみれ、桃園、一つ家、桐壺合同の忠信、新杵、南海 扇芳亭乘合同の船揃ひ、扇花亭、新杵、曙の鷺娘、南海の五條橋、開花の文屋、やよひの大原女、南海の四季の山姥、新杵の小鍛冶、やよひの藤娘、すみれの角兵衛、やよひ八犬傳、開花の手習ひ各合同の乘合船等々で各流各派師匠連の援助出演があり豪華なプロである

尾上金城氏 近く來京講演

社會事業教化の一助として古代神道に基く建國の由來及皇室の尊嚴を謳歌し國民精神修養につめてゐる大阪市大日本皇陵巡拜會尾上金城氏は目下大連に滯在各方面にて講演をなしつゝあるが近く新京へも來て講演をなす筈である、同氏は世々敬神の家系を有する古代神道の研究家であつて三人五人の家庭的茶呑み話しの講演から青年學校各學校並に國體等の講演には喜んで應ずる由である

定款變更 新京金融組合

新京金融組合では二十七日午後正三時から記念公會堂樓上で第七回定時總會を開くが附議事項左の通り

一、昭和十年度貸借對照表、財產目錄、事業報告書及損益計算書、剩餘金處分案並に監事の意見書承認の件

二、定款變更の件
第五條中「商埠地又は城內」とあるを「新京特別市」と改む、第二十六條中「十人以上」とあるを「廿人以上」と改む、第三十條中「地方流通硬貨」を削除す

三、組合長、監事三名（本所二名、哈爾濱一名、）評議員十一名（本所十名、哈爾濱一名）選擧の件

佐々木輜重兵監

【東京國通】教育總監部輜重兵監佐々木吉良陸軍少將は豫て病氣にて東京第一衛戍病院に於て療養中十六日午後一時廿分敗血症にて死亡した、享年五十四、同少將は熱河事變に際し第六師團參謀長として勇名を馳せ長城河北線に殊勳を樹てた

天氣と氣溫

明日の天氣　南の風曇後雨模樣
日の出　午前四時五十一分
日の入　午後六時二十七分
月の出　午前二時四十分
月の入　午後二時二十八分
けふの氣溫　最高 十二度二　最低 三度三

演藝と映畫

紐育の口笛
あすからの豐樂劇場

豐樂劇場十八日よりの番組はフオツクス、P・C・L、マキノトーキーを配した多彩な三本立編成である

△フオツクス「紐育の口笛」ジヤネツト・ゲーナー、チヤールス・フアーレルの顏合せ、これにジンジヤー・ロジヤースとジエームス・ダンを配した仲々愉しめさうな顏觸れである、大學を出た二人の男と二人の女とが紐育に出て生活戰線に立ち、色々と苦勞を重ねて一本立となり二組の夫婦が出來上るまでのお話が描かれてある、カスリン・ノリスの原作をジエームス・グリースンとソニア・レヴイージとが脚色に當り、ジヨン・ブライストンが監督した、キヤメラはハル・モーア、氣取つた題名と顏觸れがものを言ふ

△マキノトーキー「旅の馬鹿安」長谷川伸作る股旅ものゝ映畫化、安兵衛といふ風來坊、此の男相手かまはず喧嘩を吹きかけるところから通り名を「馬鹿安」と云ふ、渡世人仲間で「喧嘩をするな」と云ふことを「馬鹿するな」と云ふところから由來した名前である例によつてお話は定石通りに戀と仁義のそれ、監督には松田定次が調子のいゝ所を見せる、脚色には比佐芳武、撮影には大森伊八が夫々擔當・キヤストは澤村國太郎、水原洋一、光岡龍三郎、川島奈美子、松浦築枝等、何時も顏觸れが同じで條件が惡いが、これは亂作中の出色品と言はれる、

△P・C・L「放浪記」別項參照

兒玉部隊の在滿生活を撮影

兒玉本部隊では凱旋の日を前に駐滿記念として部隊の討匪狀況、警備訓練その他の陣中生活を撮影、映畫化して保存することゝなり、東京PCL撮影所に右の企てを委囑する事に契約成立、近く同社より技師の來滿を見る筈で費用は一萬圓と見積られてゐる

仙人掌

十五日のダンス教師諸君の公開は先づ成功であつたと言へやう、ただ會場狹く入場料を拂つて這入つて坐る席も無いといふのは不滿の聲が高かつた▲マダムになつた舊姓千葉さんやハルビン歸りの北條たま子君、ダンス愛好の藝妓連滿洲國の蔣介石氏等々が眼を惹いた▲『運動と趣味』四月號を見ると、大連ダンスホールでショウとして上演した「流線型高速度世界音樂漫遊」のコンチユニテイー全文が掲載されてゐる、新舞踊「唐人お吉」から始まつて「螢の光」「太湖船」「ロシヤ・ダンス」「巴里の屋根の下」その他各國を歷巡つて大連に歸るといふ十六景から成る手のこんだ代物だ▲願ひ〳〵新京でも新しい趣向が見られやう「ダンスなんて排擊しろ」ナンテいふ小林一三なんかオカシクテNOを喰はされるだらう現勢である！

膝つき合せて脚本審議
ファンク博士と伊丹監督

製作本部を京都JOスタヂオに移したファンク映畫製作所では目下ファンク博士が自ら協同監督の伊丹萬作氏と膝をつき合せて劇大作シナリオの最後的構成を打合せる一方使用する邦人俳優の詮衡を急いでゐるが近くこれ等準備も終了するので愈々本月末よりファンク伊丹の日獨協同メガホンで撮影を開始することになつた

北村の「初化粧」佐々木監督で映畫化

松竹大船佐々木康監督は目下製作中の「愛の法則」の完成をまつて北村小松が讀賣新聞に連載中の「初化粧」を春の全發聲大作として映畫化する事になつた、これは小松一流のモダニズム作品で脚色は猪俣勝人、配役は次の通り決定した

狸山健（近衛敏明）同母（二葉かほる）山下かほる（水島光代）同傳兵衛（河村黎吉）津草トミ（高杉早苗）三宅雅子（三宅邦子）同啓一郎（日守新一）花田（日下部章）八坂靜子（純英子）小川雲子（忍節子）渡邊專務（大山健二）ダンス教師（小林十九二）監督（毛塚守彥）富田鑛（坪井潤子）

石井みどり獨立

石井漠氏門下にあつてその溫雅な藝風に將來を期待されてゐた石井みどり孃は愈々獨立し豐島區長崎東町三ノ五一五（電話落合長崎二七三六番）に研究所を設立、斯道に精進することゝなつた、尙獨立第一回の發表會は五月三日夜日本靑年館において開催される

日活京都の新作

「大菩薩峠」第二篇の完成で一息ついた日活京都撮影所では更に二作品に着手する其一

放浪記
P・C・L作品

夏川靜江と堤眞佐子の主演する映畫で木村莊十二が監督に當つた、申すまでもなく原作は林芙美子のもの、脚色には小林勝が當り撮影は三村明が擔當、愛と暖き家庭とを求めて、求め得られぬ女の悲しみと放浪の記錄が綴られてある助演者は丸山定男、藤原釜足、大川平八郎、瀧澤修、英百合子、林千歲、細川ちか子等お馴染みの顏觸れ、豐樂劇場十八日より、寫眞は夏川と大川

雜音

「名畫大會」良し、樂績も良し、新京のお客さんも段々向上しつゝある、然し後を追ひ廻はすだけでは不可ん、お客んの方から常設館を先導すべきである▲リスキン、キヤプラの微笑しき娯樂、フエデエの靜觀、成瀨の感覺、映畫は時にかくも愉しく豐かである▼「ロイド」の初日、長春座では樂隊つきで街廻りをやつた、帝都では「女の友情」にネオン街、花街方面に大入袋に入れた宣傳物を贈つた、何事も宣傳の世の中である、宣傳部の企劃と努力が大いに必要とされる▲お客さんを追ひ廻はさずに、先に立つて歩かせることが必要だ

四月十八日　土曜　舊三月二十七日　庚午　大安　滿　胃宿

●一白の人　一家心を協せて專心業務を勵むが安全の日　坤と申と寅が吉
●二黑の人　次第に盛運に向はんとする端緒焦る可らず　丁と戌と壬が吉
●三碧の人　虛榮を愼しみ目上の言に從へば大吉に向ふ　丙と丑と寅が吉
●四綠の人　陰氣散じて物事順調に進む外より內が吉し　丙と壬と寅が吉
●五黃の人　外觀のみ宜しく實收は意外に少き日旅行凶　丁と壬と癸が吉
●六白の人　事業も都合よく運びて願望も次第に成就す　丙と丁と壬が吉
●七赤の人　他の言を用ゐて我意を通さぬが吉希望成る　亥と壬と癸が吉
●八白の人　果斷にして迷ふ事なくば成立の本たるべし　丙と丁と癸が吉
●九紫の人　心決せざる時は小事も手に餘る事となる日　乙と辛と丑が吉

近頃映畫雜記
耶　磨

暫らく映畫批評をサボつたので、ひとまとめに漫談風に書こう。

「情熱なき犯罪」
「罪と罰」
「武器なき人々」
「エノケンの近藤勇」
「南風」
「結婚の夜」
「女軍突擊隊」

近頃見た映畫を思ひ出すままに雜然と書き並べるとこんなものである。「情熱なき犯罪」はだいぶん前に見たのだが未だ强い印象が殘つてゐる「罪と罰」「武器なき人々」「エノケンの近藤勇」は、二・二六事件以後に見た。自分で神經衰弱になつてゐるつもりはなかつたが「罪と罰」に於ける警察政治の眼前に見る如き樣相は、その直前に見た日比谷公會堂前の制止される群衆のニユースと比べ合はされたし「エノケンの近藤勇」の場合、近藤勇と刺客接戰のシーンもぐるぐるピストルを振り廻されてはピクリと神經を刺されざるを得なかつたのである。「南風」ではあの老人の芝居に一入現代味を感じた。そして「武器なき人々」では新聞記者の「無道徳」が謳はれるのだから同伴者も考へ込まざるを得なかつたであらう

爾來、私は映畫を區別してその中に「一人で見るべき映畫」といふ特種の類別を設けることにした。この意味で「情熱なき犯罪」や「結婚の夜」などは女房を連れて行つて見るべき映畫ではないかもしれぬとも思ふのである。見る機會を得なかつたが「生きてゐるモレア」もまたこの範疇に屬するものであつたらう。映畫の「惡影響」が平和な生活に不必要な「說得力」を持つてゐたりしては凡夫はこれを忌避せざるを得ない。私は「人生劇場」を見やうと思つてゐたのだが、つひに惑ひつゝ行かなかつた。妻はそれを見て來て、ながながと映畫の場面場面を物語つて具れた、私はそれを反芻することによつて滿足した、

「雪之丞變化」は相當なものだぞ、と友人が言ふ。「忠臣藏、今度のは終りの方がだいぶん違つてゐたわよ」私はそんな取り次ぎで大體滿足し、自分の判斷をつけてしまひ勝ちだ。

昨日『運動と趣味』といふ大連で西村牛旗氏が出してゐる雜誌を讀んだら、滿日の松本光庸氏の批評が餘り高踏的過ぎると言つて館主諸君が筆鋒緩和方の運動をしたといふことが書いてあつた。して見ると、本欄N氏、近氏などのつねづねの批評も同じやうな評語を受けるかも知れない。それで良からう、ただ文章を判り易く書くといふことは心掛けていいことであらう。ミイチヤン、ハアチヤンにも納得出來るやうに。かれらは私らの仲間である。むしろ映畫を愛しそれに陶醉することに於いては、批評家以上の熱度を持つてゐるだらう。どうかさういふみんなに、映畫鑑賞の良い手引となるやうな批評を書きたいものだ。

「あなたと呼べば」は兎も角アミ同伴用の映畫、古女房とともに行くに良き映畫の區別は確かにある。「あかつき」を見るにはロシアやドイツの近代史を勉强して行くと良からうし「白き處女地」は現代の植民やバーバリズムについて考へるに良からう。所詮「一人で見るべき映畫」はあつてもわれらは野間淸治氏とは異り、映畫をたつた一人切りで見ることは困難である映畫は大衆のものである、大衆のものであるべきである。（四・一五）

「見上げた律義さ」

クレイジイ・カツト漫畫「見上げた律義さ」といふのは私の自由譯である。これは氣狂ひみたいな、近頃の人間みたいた動物どもの出て來る短篇漫畫である。外にこの小篇についての批評も見受けないので一言書いて置きたくなつた。

筋は近頃流行の、レヴユーガール出世綺談である。一匹の女の子が、苦心サンタン、脚の振り上げ方を習つたあげく、巧みな資本家の宣傳に乘つて滿場の拍手をあびる風景の寸鐵的描寫である。

舞臺でコーラスガールたちはNRAの行列をつくる。さしづめ「繁榮政策萬歲踊り」といふ所だ。

所で題名の「見上げた律義さ」は何處に行つたらう？當時流行のタツプダンスの足の響きにか？踊る仔猫の誇張した身振りに對して拍手鳴りもやまぬ觀衆・獸どもの正直さにか——歪まぬ童心を大人の世界に直截に指し示す原作者の努力にか？

線と音と思想の交錯、豐富な内容を持つた代物であつた

低金利の滿洲波及
水平化は必然か
但し特殊事情は考慮されん

馬場財政の中樞政策とも稱すべき低金利策の一石は豫想よりも早く投ぜられたが果してこの低金利政策が內地より滿洲へと波及するかどうか在滿金融業者はもとより企業家にとつては異常な關心事であるがこれに對し各方面の見解を綜合するに左の如く二樣の見解に分ち得る

一、日滿經濟關係は年と共に緊密化し今日では一體不可分の關係にまで推し進められてゐるこのことは財界の血液とも稱すべき通貨國幣と鮮銀券の關係において既に昨秋來實現されてゐる所でまた滿洲の投資は殆んど日本資本によつて行はれてゐる實情は金融關係の不可分性を物語つてゐる從つて內地の低金利は必然的に滿洲にも波及し兩者間は一時的にせよ開きがあるときは必然的にその水平化が行はれるであらう

一、日滿關係の現狀よりして前記の如き推論は正しい、しかし滿洲即ち日本なりと解することは即斷で從來滿洲國側の金利は日本側のそれよりも遙に高率で奉天のある滿人側銀行の如きは定期預金七分といふ高利で資金を吸收してゐるこれは極端な例としても昨秋の日滿通貨協定後、日滿間の金利の開きを縮少するため國幣を引下げ金圓を引上げたるが如き事實もあり、兩者が等價に流通してゐる現狀に於ては金圓のみ直に引下げるが如きことは營業政策としてなし得るところでない、さればとて國幣を同時に引下げることも對滿側金融機關との振合上實現には多分の困難が伴ふ從つて低金利政策も此滿洲の特殊事情に掣肘されざるを得ない大勢上預金利子下げは不可避としても俄かに內地に盲從することは不可能である即ち一般に滿洲の特殊性が强調されてゐるが低金利そのものに就ては共に大勢順應で單にその程度の問題とされこれが實現は內地金融界の情勢を見極めた上鮮銀を中心に正金地場銀行の合議によつて決せられよう、從つて利下の實現も早晚到來するであらうかその實施期が內地よりも相當遲れることは不可避との見解が有力である

日本經濟聯盟
近く改組斷行

【東京國通】事件以來一齊に轉換姿勢をとりつゝある各種經濟團體は新しき協同精神に甚き舊來の組織陣容の改革につき檢討を始めて居るが來る三十日總會を開催する日本經濟聯盟に於ては率先、大勢に適應した改組を斷行する事に決し從來會長指名の下に組織され實際上聯盟を動かして來た常任委員會（現在十名）を擴大强化して人員二十名前後の常任委員會を設ける事につき目下首腦部は寄々協議を進め、その構成メンバーも徒らに名前を連ねる老骨退嬰の士を退け潑剌氣銳の現役的人物を多數加へて陣容を整備する事となつた

パルプ界を先驅の
寺田、王子兩系
河西系は王子に經營委託

滿洲國に於けるパルプ事業は最近事業開始に關する滿洲國の正式認可の通牒があつたので寺田、王子、河西、大川の四社は夫々事業計畫の具體化に關して準備を進めてゐるが一番早急に製品を市場に送らんと努力しつゝあるのは寺田系でこれに次ぐは王子系であるが、最近成立を見た滿洲林業より木材の供給を仰ぎ近く工場敷地の決定を見る模樣である、玆に注目すべきは河四系が殆んどその經營を王子系に委囑した事實である、即ち資本關係から技術經營に關する一切は王子系に依つて左右される方針に決定した模樣である、又大川系の東滿パルプは林區の關係と資金關係から製品が市場に出廻るのは他より多少遲延を見るのではないかと觀られてゐる、依つて將來滿洲に於けるパルプ事業は事實上寺田系と王子系とが對抗してこれが事業に當り第一期計畫の完了に依つて六萬噸のパルプ生產が開始される譯である、併し日本パルプの輸入數量は近年激增の途を辿り約二十六萬トン金額にして六千萬圓餘に達する有樣でパルプの生產增加は國策中最も重要なものであり、第一期計畫の工場完成を見ただけでは輸入數量の一少部分を補給するに過ぎない、從つて更にパルプの附隨的事業であるハトロンの增產計畫續いて第二次擴張計畫の樹立を見て始めて國策の滿足なる遂行に資するものとみられ資金は寺田系が三菱に仰ぐこととなつてゐる

高率關税を避けて
工場の買收策
內地業者當面の進出企劃

滿洲に於ける各種機械の購入は年々增加の傾向を辿る折柄我內地業界では之に對し發展策に全力を注ぎ華々しい受注戰が演ぜられてゐるが、此際製機界から最も注目されてゐるのは滿洲に於ける機械に對する輸入關税の高率なることで此點税率の引下げを叫んでゐる業者もある、此の要望は勿論內地全業界の抱く持論と見られてゐるが當面の對策として業者の中には滿洲に從來點在した製機工場で現在は立廢れの形となつてゐる工場を買收して分工場を開設せんとするものが增加しつゝあることである、殊に此の傾向の多いのは鑛山機械と土木機械方面の工場であるが此目的が高率關税を抑制し低廉なる機械を以て需要に應ぜんとする精神に立脚してゐるのは注目に値する

今や關東州內にも
國幣の流通增加
中銀大連支行の回收高激增す

【大連國通】最近國幣の關東州內に於る流通が目立つて增加の傾向があり中銀大連支行に於る回收高も左表の如く急激に增加し昨秋パー示現の當時は僅か三十九萬圓に過ぎなかつたものが本年一月には百萬圓、更に三月になつて百五十七萬圓となり、最近は一日最少二、三萬圓、多い時は十萬圓を突破しつゝある現狀で更に漸增の形勢にある

中銀大連支行回收高（單位千圓）

十年	九月	三九二
	十月	三九九
	十一月	五二二
	十二月	六八二
十一年	一月	一、〇一三
	二月	一、〇九二
	三月	一、五七一

右の現象は滿鐵を始め市中各銀行が客の需めに應じ國幣と金票を等價に收受し中銀支行にて交換を行つて居るためである、更に州內の補助貨拂底に乘じ國幣の補助貨がぼつぼつ流通しつゝある事は注目される

法規化する產業統制（五）
生みの苦しみは
日本產業との整調
＝植民地的搾取を排す＝

新らしく公布さるべき、滿洲國產業統制法の骨子の中に『日本の既有產業と緊密なる協調を保つ一方、適地適業主義を徹底せしめ、ブロック經濟の理想的實現を期す』といふ一項があるが、そうしてこの新らしき產業統制法出產の陣痛は、けだし日本產業との整調問題を如何に處理するかにありと豫期されてゐるのはまさに當然過ぎるほど當然である、日滿兩國の產業に對しその自然的社會的條件に應じて、國際的分業の方針を確立し、適當なる組合せを行つて振興繁榮をはかり、日滿兩國生產者及び消費者の福利を平等に增進せしめるといつて見たところで、具體的問題に當面しては、そうした抽象論では解決がつかない。

×　×

さりとて日本工業化、滿洲原料國論の一本調子で、從來の日本の既成產業に打擊を與へないばかりでなく、滿洲に生產される原料を日本において加工し、これを滿洲國に輸出して兩者間の統制をとらうといふのは、聊か虫のよい話で、まさに植民地搾取政策に陷するものであるとの誹りを免れない、さらにまた原始產業と加工業とを問はず、苟も日本の既存產業を危ふからしめるものは、たとへ生產條件が滿洲において有利だといつても、これを排擊して制限を加へるか、輸出入量または國內市場における價額の調節をして、日本の既存產業に保護を加へなければならないとの、日滿經濟統制論があるが、これも決して妥當適切とは云ひがたい。

×　×

けだし今日における滿洲の開發促進の效果的なる手段が農業あるひは鑛業に期待することの困難な事情にある限り直ちに工業に向つて着眼されるのは當然であり從つて日滿產業整調の困難も、工業を繞つて起り、產業統制法の生みの苦しみも、また工業の問題にあるわけである。すなはち曾て滿洲が支那經濟の植民地であり、かつ舊東北政權の暴政下にあつた關係から、これまで滿洲には工業はほとんど起り得なかつた、いはゞ滿洲國は工業に關する限り處女地といつてよい、そうして獨立後の滿洲における工業條件の良好さは左の如くである。

一、支那の工業助勢のための保護關税が、現在の滿洲において、多少の修正を加へながらも依然として存續してゐる、ことに從來支那工業の植民地なりしため、滿洲國內に自給工業を有せざる

一、滿鐵、國鐵等の鐵道運賃は頗る高率であつて、工業の企業化を有利にしてゐる

一、工場法的拘束なく、至極且つ豐富なる勞力があり

一、燃料および動力が廉價に得られる

×　×

たゞこの間にあつて現在第三次の全面的關税改正が計劃されてをり、かつ近く實現を見ることに確定した治外法權の撤廢によつて、日本人の滿洲に對する從來の免税が無くなるから、これらの點は多少事情の變るのを注意しなければなるまい。（水口生）

土建ニュース

決定工事

▲濱江省安達地畝分局廳新築工事 ●營繕需品局
示談　八千五十圓　藤澤工務所

第一回 [illegible]　藤澤工務所
[illegible]　岳南組
[illegible]　永德福
[illegible]　滿守喜業權　眞部組

▲再入札に永德福、眞部組は

▲敦化海林線官溝子東京城間道路一部附替工事 ●國道局新京建設處
辭退
落札　二萬四千八百圓　福昌公司

▲磐石樺デン線橋梁洗越工事
落札三萬四千六百七十圓　多田工務所

▲南嶺淨水場構內排水工事 ●國都建設局
豫特　四千七百七十圓　田中組

▲永昌附近車道碎石鋪裝及側溝築造工事 ●國都建設局
落札　一萬一千九圓七十

▲奉天被服廠倉庫改築工事 ●奉天被服廠
落札　一萬四千二百圓

▲大連間一四六キロ一〇一双橋河橋梁橋脚改築 ●奉天地方事務所
落札　六百四十八圓

▲遼陽配電所新築工事 ●大連鐵道事務所
落札　二千百五十圓　長谷川工

▲大連驛第四十五號建物增改築工事
單示　一千四百九十圓

▲甘井子第五區甲種社宅其他新築工事 ●滿鐵地方部
落札　二萬二千八百九

▲甘井子共同浴場其他工事
落札　一萬七百五十圓

●吉林鐵路局

▲吉林局宅自炊下洗配水工事
落札　一萬五千三百八十八圓

▲間住線信號場路盤新設溫海間二三二K四〇〇附近路盤新設其他工事
落札　四千五十圓

▲入區頭事務所增築工事 ●哈爾濱水運局
示談　三千八百四十四圓

豫告工事

▲淨月潭專用路築造工事 ●國都建設局
開札　四月十七日

▲東安街小鋪石鋪裝工事
開札　四月十六日

▲千島町碎石車道打起修繕工事 ●地方事務所
開札　四月十六日

▲奎星街外四街下水道築造工事 ●市公署

商況欄（四月十七日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊　紐育銀塊　紐育綿花　[illegible]

各地株式市況（前引）

▲東京株式（短期）　▲阪神日米爲替　▲阪神日英爲替

▲大連爲替

（公債・株式）茶正號

▲上海爲替　爲替相場

金銀市況

▲錢鈔

▲牛皮　▲新京小麥　▲哈爾濱小麥　▲カルカッタ麻袋

▲大阪株式（短期）

▲大連株式（短期）

▲奉天株式（短期）

各地商品市況

▲大阪棉糸　▲大阪棉花　▲大阪人絹

各地特產市況

▲大連大豆　●同豆粕　●同豆油　●同高粱　●同小麥　●哈爾濱大豆　●神戶豆粕

新京取引所市況（四月十七日前場）

現物（一石値段）　定期（混合百斤値段）

[illegible]

豐樂劇場

十八日より
放浪記　夏川靜江　佐佐木信子（P・C・L特作）
紐育の口笛　フレッド・アステア　ジンジャー・ロジャース（超特作）
旅の鹿馬安　國太郎主演（キネマ特作）
入場料　七〇錢
電話 2・1445・2・1585

帝都キネマ

十六日より二十日まで
女の友情　見影立公　信夫ほか
愛と暴風雨篇　あかつき
快傑黑頭巾　大河内傳次郎
料金階下　壹圓
電話 2・1236・2・1405

新京キネマ

愈々十九日まで　オールトーキー
あなたこそ呼べば　杉狂兒　星玲子
江戸の春遠山櫻　尾上菊太郎　深水藤子
潮（うしほ）　鈴木傳明　山田五十鈴
御夫婦同伴の方は十錢引
階下八十錢
電話 3・2068

長春座

十六日封切　六日間
大學よいとこ　蒲田最高藝術作品　小津安二郎監督
江戸節をめぐる姿　下加茂・オールトーキー　高田浩吉・河富士子
牛乳屋のドイロ　パラマウント特作　ハロルド・ロイド
一圓
電話 3・3134・3・5766

新鮮に潑溂と●全店躍動●

アサヒ百貨店

店內御自由に御高覽くださいませ

本店　東二條通新キネ横　電話3二三四二番
支店　興安大路、四二三　電話2三七六一番

日清サラダ油

高級サラダ・フライ・てんぷら用・

茶式懷石料理

料理九品揃　上酒二本附　金三圓
◎此新しい催しの食卓を
新京キネマ隣
割烹　酒乃寮
電話（3）六五三二番

皮膚科　泌尿科　外科　性病科

同仁醫院

新京富士町二丁目一六
電話（3）二六〇六番

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

伊北軍の先鋒部隊

アヂスアベバへ進擊

伊三色旗飜る快速挺身隊

黑人帝國首府の占據へ

【ローマ十六日發國通】イタリー北軍の精鋭は既にエチオピアの軍事的心臟部デッシエを奪取するに至つたが同地よりローマに到達した報道によれば北軍の先鋒部隊はデッシエ侵入後息つく暇もなく直ちに自動車、戰車並に軍用機等近代兵器を網羅する快速挺身隊を組織、十六日拂曉デッシエを出發してアヂスアベバ市に向つた、三日以內に首都に入りエチオピア皇帝の王宮高くイタリー三色旗を掲揚して茲に黑人帝國占據の工作を完成する意氣込みと解される

エ國皇儲殿下を擁立

傀儡國を建設か

【アスマラ十六日發國通】エチオピア皇太子アスファ・ウオッセン殿下は十四日夜イタリー北軍の入城を前に新鋭軍千名を率ゐデッシエ市を撤去したと傳へられる、皇太子は豫ねてよりハイレ・セラシエ一世との間柄思はしからずと傳へられてゐるが、デッシエ撤收に當つてはイタリー軍總司令バドリオ將軍との間に何等かの默契が存在したのではないかとも觀られる、イタリー政府は首都攻略後エチオピア帝國領土に傀儡國を建設する方針と言はれるが、右傀儡國の元首には皇儲が就任するのではないかと解される

イタリー政府の

〔エ國植民地統治方式決定

【ローマ十七日發國通】イタリー政府は首都の攻略を目前に既にエチオピア植民地統治の方式を決定、植民省當局に於て目下具體案を檢討してゐると確聞する、統治方式の內容として傳へられるところ左の如し

一、遠征軍が首都アヂス・アベバ市を攻略すると共にイタリー政府は正式にエチオピア國に對する統治宣言を中外に發表し、同時に皇帝ハイレ・セラシエ一世の廢位を斷行する

一、エチオピア全國を軍政下に置き各地方を種族別に分割して酋長又は地方豪族を各地區の行政酋長に任命する

一、全國に亘り民族の自治宗敎の自由を宣布する

一、傭兵土民軍を組織しイタリー將校の指揮下に置く

一、イタリー憲兵の指揮下に植民地警察隊を組織する

一、新統治機構が確立されるまでの豫備的段階に於てはイタリー政府はエチオピア全國に亘り經濟的、商業的權益を獨專する方策を講ずる

一、但し統治機構確立後は門戶開放策を堅持する

一、英佛兩國政府が一九〇六年十二月の條約によつて確保せる權益は以上の全期間を通じて尊重する

各國要望で

伊國媾和條件を緩和

【ジュネーヴ十六日發國通】イタリーが國際聯盟の存在を無視した爆彈的媾和交涉案を提示するや各國代表は極度に重視し、聯盟事務局に於ても十六日午後には容易ならぬ情勢であると言明するに至り、各國代表はイタリー代表アロイジ男と會見、イタリー政府の自省を要望した結果同代表も十六日夜ローマに長距離電話でム首相に指示を仰いだ結果、幾分原案を緩和するに至り、會議地をロザンヌとすること、媾和交涉經過に就き中間の情報を十三人委員會に通達する事及びエチオピア政府が媾和交涉を重大視して豫備的折衝に入る場合イタリー政府は戰鬪行爲を停止するに吝でないとの意向を表明した

三國參謀本部

會談終る

【ロンドン十六日發國通】英、佛、白三國軍代表は十六日午後英國海軍省に會議を開きゼームス海軍中將司會の下に陸、海、空三軍分科交涉の結果に就て綜合的檢討を加へた後協議を打切るに決定した、十七日午前更に非公式會合を遂げた後各代表は十八日夫々本國に引揚げる豫定である、斯くして參謀本部會談は呆氣なく終了、その內容に就ても何等發表されないが、フランス軍代表當局は會談の結果に悉く滿足を表明、議事は豫想以上に進捗し前後四回の會談で議事日程を完了したと稱して居り、會談の內容は全然察知出來ないが、フランス側は次の成果を指摘してゐる

一、佛白兩國は侵入軍に對し防禦反擊する場合英國の援助を期待し得る情勢を確保した

一、但し英國陸軍の再軍備計畫が實現せぬ限り支援を期待する事は出來ない

撤廢移讓の具体的

實行細目案決定

きのふ現地委員會開催

治外法權撤廢並附屬地行政權調整移讓に關する現地委員會は十七日午後二時より板垣新委員長司會の下に武部關東局新總長、大達新總務廳長を始め關東軍、大使館、關東局、滿洲國及滿鐵の現地各機關の委員、幹事全員出席の下に開催されたが右に關し關東軍では午後四時半左の如く發表した

關東軍發表

治外法權撤廢並附屬地行政權調整に移讓に關しては昨年の現地委員會に於て司法行政の各般に亘り略その要項の決定を見、それぞれ中央に進達せられたる通りなるが其後右方針に基き之が具體的處理方法に關し現地各關係機關に於て銳意硏究を進めつゝありしところ目下中央に於て愼重審議中の課稅、產業等に關する事項を除く全面的撤廢移讓に關する具體案を作成するため今回領事裁判權、行政警察權、在滿日本人子弟敎育の經營、附屬地々方行政及施設並職員の引繼等各部門に亘る實行細目に關し大體幹事會の意見纒りたるを以て之を本日の現地委員會に附議したり、委員會は板垣新委員長司會の下に武部關東局新總長、大達新總務廳長をはじめ關東軍、大使館、滿洲國及滿鐵の現地各機關の委員幹事全員出席し幹事會案通り全部その決定を見たり

アジアビール

八千株公募

ビール界好調の波にのつて新たに滿洲國法人としてデビューしたアジアビール會社（資本金百萬圓、代表森脇松一郞氏）は目下創立事務所を大阪に置き創立事務を着々進めて居るが、同社では發起人引受株以外の八千株を十五日より廿一日迄の期限で朝鮮銀行を引受銀行として公募する事となつた、尙同社は本社並に工場を奉天鐵西に設置すべく既に敷地の買收を完了、近く工事に着手する筈

滿洲國辭令

滿洲國政府十六日附發令

國務院總務廳長 大達茂雄

親補帝室大典委員會委員

中銀週報

自四月五日
至同十一日

貨幣發行額 [illegible]
紙幣 [illegible]
準備 保證 [illegible]
鑄幣 [illegible]

產金買上價格

財政部は產金買上法に基く產金買上價格を十七日一瓦に付國幣三圓五角と決定した

人事往來

▲村上二等軍醫正（新京衛戍病院）十七日午後奉天より
▲高島義彥氏（鑛業）同ハルビンへ
▲野々村美貞氏（軍人）同市內へ
▲德本房雄氏（請負業）同營口へ
▲高橋福松氏（商業）同吉林へ
▲小野元彥氏（會社員）同ハルビンへ
▲有馬進氏（三田組）同吉林へ
▲島崎昇氏（會社員）同ハルビンへ
▲新田忠平氏（安東商議所理事）同吉林へ
▲仁科二郎氏（榊谷組）同來京中央ホテル
▲吉田博太郎（商業）同
▲富永順太郎氏（滿鐵）同

航空往來

▲高畑久彥氏（工業）十七日午前ハルビンへ
▲武幸太郎氏（會社員）同平壤へ
▲辰村米吉氏（請負業）同
▲田中理財司長 同大連へ
▲花田金城氏（請負業）同
▲田中少佐 同チチハルへ
▲田中交通部長 同ハルビンへ
▲井出吉明氏 同午後ハルビンへ
▲茂森唯士氏（會社員）同
▲石黑精一氏 ハルビンより
▲山瀨中佐 同奉天より

〝兩權委讓に對する 現地情勢打診に〟

外務省栗山條約局長來京

課稅權並に產業行政權に關する條約の締結に先立ち現地の意向を聽き滿洲國側の準備に對し最後の打診をするため栗山外務省條約局長は十七日午後九時着〝ひかり〟で守屋參事官、大達總務廳長、武部關東局總長、坪上滿拓總裁、山本通商課長、林出書記官、大坪法制處長ら關係者に向へられ着京、大和ホテルに入つた

治法の撤廢で 期待さるゝ對滿發展

課稅權並に產業行政權委讓に關する條約の批准を前に現地日滿當局及び在留邦人の意向を聽取し併せて治法撤廢に關する滿洲國側の準備を打診するため來京した栗山條約局長は途中四平街まで出迎へた記者に對し車中左の如く語つた

條約の批准を前に現地日滿當局と最後的打合をなし併せて滿洲國の準備の打診と在留民の意向を聽取するために來滿した、樞密院でも治外法權撤廢の眞義を理解し政府に協力する態度をとつてゐるから條約の締結も圓滿に運ぶものと確信する、こん度は課稅權、產業行政權の委讓に關する問題で來た譯だが治外法權撤廢の第一步でもあり今後の方針にも影響する問題であるから充分檢討してゆきたいと思ふ、一方在留邦人とも會つて政府の漸進方針を說明し決して負擔の加重や利益を阻害するやうなことがないことを、納得せしめる積りである、元來治法撤廢は在滿邦人の利益の擴充であるともいふことが出來るのであつて、今度の條約には內地居住權の法的確認及び土地所有權の確立なども含まれ撤廢によつて日本人の對滿發展が更に期待出來るものと信じてゐる、勿論、滿洲國側に對してもこの機會に準備の完全を要望する積りである

昨日の定例閣議

內務省關係の事變責任者懲戒決定

【東京國通】十七日の定例閣議は午前十時二十分より首相官邸に於て開會、先づ二・二六事件に關する內務省責任者の懲戒處分を附議した結果警視總監、警保局長、警務部長保安課長等の勅任官のみを譴責處分に附する旨を正式決定し、次で寺內陸相よりソ滿、滿蒙國境狀況に就き說明があつた後、島田農相より地方長官異動及び植民地首腦の更迭に關し長官の更迭は地方民心に及ぼす影響重大であるからその人物、縣の實狀及び政治的影響等諸種の點を考慮して愼重にやつて貰ひたいと力說して正午散會した

川口中尉等の死體

昨日午後突如引渡す

十七日午後四時當地某所への入電によれば川口中尉ほか兵二名の死體引渡しに關しソ聯側は引渡時期の遷延をなしてゐたが同日午後に至り突然死體を引渡したとの事である、原因は不明なるも未だ調印は了してゐない模樣である

冀東修好使歡迎晩餐會

張外交部大臣は冀東遣滿修好使池宗墨氏一行歡迎のため昨夜午後六時よりヤマトホテルで晩餐會を開催した

〝殷長官に傳へて 御聖旨に副はん〟

池使節拜謁の感激を謹話

十七日謁見の光榮に浴し宮廷府を退下した池宗墨使節は感激の面持で左の如く謹話した

本日は私共使節一行皇帝陛下に謁見の光榮に浴し、更に特に別室に於て茶を下されまして親しく御懇談を賜り身に餘る光榮でありまして一生忘るゝ事の出來ないところであります

陛下におかせられましては冀東政府に對して御期待遊ばさせられる御趣きにて、人民のためこの上とも精勵せよとの有難き御言葉を賜り、更に私が入京の際發表致しました、ステートメントを御覽遊ばされまして「使節は孟子を深く硏究して居る樣で孟子の言葉を引用して居るが、我が滿洲國を賞讚して居るが、我國は建國日尙淺く未だ諸般見るべきものはないが、王道主義に基いて折角努力して居る、冀東政府も王道で進め、東洋道德を重んじ道德第一でなければならぬ、東洋の平和は日滿支の合作によらねばならぬと」の意味の御諭しを賜はりまして恐懼感泣の至りに堪へませんと同時に、斯くの如き御英邁御仁德の皇帝陛下の君臨まします滿洲帝國臣民の幸福は羨ましき次第であります

本日賜りました皇帝陛下の數々の有難き御言葉はそのまゝ殷長官に傳へ御聖旨に副ひ奉る覺悟であります

池冀東專使

電々會社視察

來新中の冀東專使池宗墨氏は十七日午後一時過ぎ電々本社を訪問、一時半より三十分間新京放送局より「滿洲國に使して」なる講演を放送した後總裁室にて山內總裁と懇談を重ね田村文書課長の案內によつて社內參觀の上午後三時頃辭去された

後任駐支大使に

川越總領事起用に決定す

【東京國通】有田外相は對支外交の重大性に鑑み支那の事情に精通した人材を拔擢することに方針を決し、現天津總領事川越茂氏を駐支大使に起用することとなり、南京政府にアグレマンを求めてゐるが南京政府の回答あり次第有田外相より上奏御裁可を仰ぎたる上、左の如く親任の御沙汰がある筈である

總領事 川越茂

任特命全權大使 中華民國駐劄被仰付

須磨總領事 アグレマン要求

【南京十七日發國通】須磨總領事は十六日午後外交部に張群氏を訪問、帝國政府に於ては天津駐劄川越總領事を駐支大使に任命する意向なる旨通達、國民政府のアグレマンを要求した

三月中旬の 對滿支貿易槪算

【東京國通】大藏省發表＝三月中對滿洲國、關東州、中華民國及香港貿易槪算左の如し（單位千圓）

輸出	六〇、九四九
輸入	三八、八〇〇
合計	九九、七四九
出超	二二、一四九

一月以降累計出超三六、九九七三これを前年同期に比すれば輸出は三分四厘、輸入は二割二分一厘を夫々增加し輸出入合計に於て九分九厘の增加となつた、尙ほ一月以降の輸出超過額は前年同期の五千二百九萬四千圓に比し一千五百十二萬一千圓の出超減である

西總監經過良好

【東京國通】十七日午前九時敎育總監部發表西敎育總監は發病後一ヶ月を經過し、漸くにして左上下肢に微かに感覺を覺えられ、左手は屈曲運動を自由意思により行はる、體溫、脈搏、呼吸等變なく記憶力良好意識も亦明瞭なり

社說　何を以て呼びかけるか　——對支國民外交の基準に就て

一

對支國民外交の緊要性、換言すれば一の國民黨乃至一の國民政府を唯一の交渉相手にしないといふ態度は、すでにわが昨年の多田氏談話或ひは磯谷武官の聲明によつて確立承認されて居るところであり中華民國の有識者も亦漸くこれに同感の意を表明し來つてゐるところである。近時の消息は南京政府にイニシアチヴを取る一國の方向か、露骨に親ソ容共の傾向にあることを傳へてゐるのは最も注視に値ひする。この場合、支那國民に與へらるる呼び掛けの言葉は何であるか?——「全民族聯合して起ち白色帝國主義の侵略に對して防衛せよ」それに外ならぬであらう。斯くて、コミンテルンは蔣介石の曾つての背叛をも赦し、暫らく手を携へて共同戰線に立たうといふのである。すでに昨年開かれた久し振りのコミンテルンの世界大會が、社會民主主義者との共同工作をも肯定してゐるのを想起すべきである

二

今日、對支外交の局に當るものは、現代支那の政治的段階がいかなる性質に置かれてゐるかを明確に認識すべきである。それは、いはゆる內政不干渉主義が確立してゐた國際主義の時代にはさして重要でなかつたとも言へる。しかしその如き時代はすでに過ぎてゐる。今日列强はその如き餘裕を有してゐない。相互にその强力な要求のために、あらゆる可能な進出を目指してゐる。この時、現代支那が未だ民族國家を確立するまでに充分到つてゐないことは屢次暴露されて來たところである。支那では未だ近代社會が全面的に確立を見てゐない。支那國民の生活が、特にその大多數を占める農民の生活が、ギルド的相互扶助によつて辛うじて維持されてゐる狀態を見るべきである。北支民衆の自治運動と、冀東自治政府の確立とは、かかる情勢からの必然的な創造活動の成果であつたのだ。

三

われわれは、滿洲國の建設を嚮導した指導原理が當然に推し及ぼされて、東方大陸史上になほより廣汎に新しき創建を設定すべきであると思惟するものである。そしてこの時、北支那、蒙古、回疆の地域の諸現住民衆に對しての呼び掛けが絕對に必要である。農民・勤勞者大衆の自主的自治體系を目指して、政治と經濟と文化とのそれぞれの分野に亘つての興起が組織されねばならぬ。かかる基本工作を措いて、アンチ・コンミュニズムの共同戰線を設定しても皮相の效果をしか生じないであらう。何を以て呼び掛けるか、國民外交の新しい建設は此處から基本的に開始される

注視の的外蒙事情(七)　外蒙の變遷とソ聯邦の外蒙侵略

五、外蒙の自治取消

支那政府は外蒙自治承認後庫倫に辦事公署を設けメキシコ駐劄全權公使陳　を庫倫辦事大員に任命して庫倫に駐せしめ、露支協約第三條の所定權限に基き外蒙自治官府及び役員の行動を總監し、又烏里雅蘇臺、科布多、恰克圖の三地に佐理員公署を設け、佐理專員を駐在させ庫倫辦事大員に直屬せしめた、陳　辭任後は烏里雅蘇臺副都統使陳毅が拔擢されて陳　の後任に据えられた、陳毅は元來外蒙の王公間に多くの知己をもつてゐた關係から外蒙と支那との接近に努め、時恰もロシアが歐洲大戰に參加して外蒙を顧る暇のないのを乘ずべき機會として外蒙自治官府內に於る親支派勢力の伸張に成功しつゝあつた其後帝政ロシアの崩壞に次でシベリアは一時全く混亂狀態に陷り外蒙の接壤地ザバイカル地方はセミヨノフ將軍の支配に歸した、セミヨノフは間もなく蒙古民族の結合による、大蒙古國の建設を企圖し一九一九年二月ブリヤート族を主體としてチタに大會を召集し、大蒙古國建設の決議案を採擇し四人の委員から成る臨時政府を樹立し庫倫攻略の計畫を進めた

この不穩なる形勢をかぎつけた陳毅は北京政府に對し軍隊の派遣を要請しセミヨノフ軍を邀擊し、それを機會に外蒙の自治を取消させて支那の完全なる支配下に歸せしめんと思慮せる一方、活佛はじめ外蒙自治官府の首腦部を說いてセミヨノフの術策に陷らざる樣警戒を與へた、彼のこの裏面工作は效を奏し、遂に活佛はセミヨノフの抱込み運動を一蹴した爲め彼等の企圖は畫餠に歸した

他方北京政府は陳毅の要請を容れて外蒙出兵を決し、段祺瑞の懷刀と評判された智將徐樹錚を西北籌邊使兼西北邊防軍總司令兼外蒙善後事宜督辦に任命し、外蒙の善後處置に關する軍務及行政の大權をあげて彼に與へ外蒙經略に當らせた

大命を授つた徐樹錚は混成一箇旅團を以て邊防軍を編成し先發部隊たる(一團一箇聯隊)を庫倫に入城せしめ、後方部隊たる他の一團を烏得、滂江に待機せしめ彼自身は自動車隊を編成し、一九一九年十月廿四日北京を出發同卅日庫倫に入つた、徐總司令は着任と同時に外蒙自治官府を相手に自治取消に關する交渉を開始し、十一月十六日最後通牒を突きつけ翌々十八日遂に相手方を屈服せしめ、二十日北京政府に傳達され、二十二日外蒙自治の破棄および支那に對する外蒙古の完全にして無條件的從屬に關する大統令が公布された、斯くて一九一五年の露支蒙三國協定によつて確認されてゐた外蒙古の自治權は、支那の强要によつて一時取消されたのである

來る二十八日から　國民精神發揚週間　建國精神の徹底を期す

國民精神を振興し、國民大衆に建國精神を徹底せしめる爲文教部では來る四月二十八日より一週間に亘り全國一齊に第一回の「國民精神發揚週間」を實施する事となつたが實施事項は左の如くである

一、期間　四月二十八日より五月四日迄(訪日宣詔記念日の五月二日を中心とし前後一週間)

二、實行事項

甲　全期間內一般實行事項

1 地方の實情を按じ右週間內に適當の行事を擧行する

2 本週間內各機關、各團體は單獨又は聯合して生活改善等の諸行事擧行を提唱する(例へば吉、凶、慶、弔虛禮の廢止及改善、守時の奬勵、拒毒會等の創設)

3 講演會談話會を擧行し以て徹底了解せしめる

乙　宣詔記念日の當日(五月二日)

1 當日を以て國民精神發揚週間の中心となし各機關各學校各團體詔書捧讀式を擧行し以て聖訓の本意の徹底了解を期す

2 各種行事の宣誓式

3 各種社會教育の計畫及實施並に農村生活改善の勵行

三浦特務機關長來安

【安東國通】三浦奉天特務機關長は十七日午前七時三十分着列車で來安、植田軍司令官の訓示を傳達、終了後安東ホテルに一泊の上今十八日「ヒカリ」で本溪湖を視察歸任する豫定である

滿洲國特許發明法(九)

第百四十一條　第三十九條の評決に對し抗告評定の請求ありたるときは抗告評定の評決ある迄は出訴することを得す

第三十九條の評決に對し出訴ありたる場合に於て抗告評定の請求ありたるときは訴の取下ありたるものと看做す

第三編　罰則

第百四十二條　特許權を侵害したる者又は特許權を侵害すへき物を輸入若は移入したる者は五年以下の有期徒刑又は五千圓以下の罰金に處す

前項の罪は告訴を待て之を論す

第百四十三條　左の各號の一に該當する者は三年以下の有期徒刑又は三千圓以下の罰金に處す

一　詐僞の行爲を以て特許を受け又は評決を受けたる者

二　非特許物若は非特許方法に依る製作物を特許若は特許方法に依る製作物なるか如く僞造し又は僞裝したる非特許物若は非特許方法に依る製作物を販賣若は擴布したる者

三　非特許物又は非特許方法に依る製作物を製作若は使用せしむる爲又は販賣若は擴布する爲文書、圖書、口頭又は其の他の手段に依り人をして其の物若は方法か特許に係ることを誤信せしむるに足る表示を爲したる者

四　非特許方法を使用せしむる爲又は販賣若は擴布する爲文書圖書口頭又は其の他の手段に依り人をして其の方法か特許に係ることを誤信せしむるに足る表示を爲したる者

第百四十四條　第百四十二條の犯罪行爲を組成し又は之より生したる物にして刑法の規定に依り沒收することを得へきものに付判決言渡前被害者の請求ありたるときは所有權を被害者に移す旨の言渡を爲すへし

前項の場合に於て被害者は其の物の價額を超過する損害の額に限り賠償の請求を爲すことを得

第百四十五條　法律に依り宣誓したる證人、鑑定人又は通譯特許發明局又は其の囑託を受けたる法院に對し虛僞の陳述を爲したるときは一年以上七年以下の有期徒刑に處す

前項の罪を犯したる者事件の査定、評決又は裁決の確定前自白したるときは其の刑を減輕又は免除す

第百四十六條　特許發明局職員又は其の職に在りたる者故なく其の職務上知得たる特許出願中の發明又は特許出願者の事業上の秘密を洩漏し又は竊用したるときは三年以下の有期徒刑又は三千圓以下の罰金に處す

第百四十七條　特許發明局より證人、鑑定人又は通譯として呼出されたる者正當の理由なくして呼出に應せす又は其の義務を盡ささるときは二百圓以下の過怠金に處す

第百四十八條　特許發明局より證據調に關し書類其の他の物件の提出又は提示を命せられたる者正當の理由なくして其の命に從はさるときは二百圓以下の過怠金に處す

第百四十九條　過怠金に處すへきときは第一評定に於て裁決を爲すへし

過怠金事件の評定者をして辯明書を提出せしむることを得

第一項の裁決には理由を附すへし

第百五十條　過怠金を科する裁決は特許發明局長の命令に依り之を執行す

前項の命令は强制執行に關しては執行力を有する債務名義と同一效力を有す

附則

第百五十一條　本法施行の期日は勅令を以て之を定む

第百五十二條　本法施行の際外國に於て登錄を受け現に其の效力を有する發明に付其の登錄を受けたる權利者は實業部大臣の許可を得たる場合に限り其の發明に付第二條第一號の規定に拘らす本法施行の日より一年內に特許を請求することを得

前項の規定に依り特許の出願ありたるときは第八條の規定に拘らす之を特許す

第百五十三條　前條の規定に依る特許權は本法施行の日に於て發生したるものと看做す

前項の特許權の存續期間は其の外國に於ける殘期間とす

第一項の特許か無效と爲りたるときは初より存在せさりしものと看做す

第百五十四條　本法施行前外國に於て特許出願を爲したる者は實業部大臣の許可を得たる場合に限り其の未た登錄なき發明に付本法施行の日より一年內に特許を請求することを得

前項の規定に依る出願ありたるときは其の順位及發明の新規なりや否やは外國に於て爲したる出願の時を標として之を定む

丁香盧漫筆(九三)　◎『此と申すも國境不明』(上)

外蒙境のタウラン附近で外蒙飛行機が十二台も空襲して來たやつを此方は陸上部隊丈で三台も擊落す、三台は大破損不時着で分捕る、二台は火災を起して致命傷　殘る四台だけが命から〴〵逃げて行く。

翌日は此方の飛行機で敵の裝甲自動車卅輛步兵砲自動車九十六輛もの大擧來襲を物の見事に叩き付けて裝甲自動車二輛も分捕り一輛を破壞し其他は蜘蛛の子を散すが如く逼竄こんな戰報は實に痛快で久振りに溜飮が下がり遙かに胸がスーッとするやうな氣持がする。

×

此に比べるとやれいつ幾日國境で馬を何頭持つて行かれたとかやれ樵夫が一人拉致されたかと云ふ抗議は市井匹夫の爭に近く堂々たる大國の爲すべきことでないといふ顏の篇めが何んだ兩國くも無いと云つた氣がする、滿洲國の外交部と云つた處で別に大した仕事もあるまいから事大小となくマア此んな時にはこんな抗議をするんだ位の將來の爲めの外交實習には若干役立つかも知れぬが其以外には餘り效果が有りさうにも思はれない。

×

日本か露西亞とのお附合は隨分久しいものであり、滿洲國にした處で此四五年間相當種々な經驗に出會してるのだから對手のどんな奴か位は知り拔いて居る筈である、耳に胼胝を聽かせ其れで事が辨ずるのとは違ふ、矢張目に物見した方が早い、一層のことグワンと一つ喰はした方が更らに效果的である、こんなものを對手に安價な抗議を幾度交換して見ても何にもなるまい。それよりは淵默雷聲で物凄い程靜まり返つて小波一つ起たぬ積水の下何物かゞ潛むの感があるがいざとなると迅雷耳を掩ふに遑あらずで人をして震上らしめる、今度のタウランの戰鬪がそれだ、下らぬ抗議はやめて何處までもこの淵默雷聲の戰法で行くことだ、外蒙國境丈ではいかぬ蘇聯國境でもこんなのを二三回やつて見るがいゝ必ず特效があらう。

×

死んだ大石正己がその昔禪に熱中した頃の話である、或日旅行先から汽車で歸京の途中橫濱から法被姿の職人風の若者が一等車に乘込んだすると乘客の一紳士が起ち上り勿體振つてお前は車を間違たのでないかと訊いた、件の職人風の若者は一言も發せず腹掛の丼から白切符を出して紳士の鼻先きに突付け引つ込めたかと思ふといきなり紳士の橫面をイヤと云ふ程ぶん毆つた。側で見て居つた大石が此こそ眞の禪機だといふて非常に感心したと云ふのである、原來日本人は先天的に直感の銳い國民である、不立文字の禪機を會得してる國民である、舶來かぶれの抗議などいふ下らぬ立文字に墮してはならぬ。

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

空氣銃輸入手續

內地から滿洲國內に空氣銃を輸入するには警察署長宛銃砲(火藥)輸入許可願を提出し許可を得ればよろしい、その樣式は本籍地住所職業氏名、生年月日

一、銃砲(火藥)種類及び數量

一、輸入の目的、事由、輸入先

その他發着日時輸入方法經路荷送人の住所、氏名、職業など記載する事になつてゐます

×

問　拜啓益々御隆昌段奉賀候陳者御多用中恐れ入り候へども當地附屬地內にて琴(生田流)の教授をされる婦人の方を御承知ならば御知らせ被下度御願申上候(中山治子)

答　吉野町一丁目三番地河崎雅榮女史が最もよろしいでしやう時間は毎日午前七時から午後二時頃まで月謝は五圓と三圓のやうです

商況欄(四月十七日後場)

金銀市況

●上海標金　前引 二三一・〇〇　後寄 二三一・〇〇　步 [illegible]

●大連金鈔票　寄付 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]

爲替相場

●大連鈔票銀大洋　現物 一二四・〇〇　一二四・一〇

安 [illegible]　出來高 二萬　▲四月二十八日限・五月十三日限　寄付 [illegible]　步 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 [illegible]

▲上海爲替

▲日本向	第一回賣買	一〇〇、三七五
▲倫敦向	第一回賣買	一志二片 一六分二五
▲紐育向	第一回賣買	二九弗 一六分七

▲大連爲替

▲上海向	一〇六、五〇〇　六、六〇〇
▲[illegible]向	六、七〇〇　六、六五

株式相場

▲大連株式(短期)　寄 / 引　出來高 [illegible]　不申

▲鈔票天株式(短期)　寄 / 引

五品新、豆鈔新、鐵新、滿鐵新、東鐵新、二新、日產、鈔新、滿取新、東新、大新、日產新、五品新、鈔鐵新、滿鐵新、豆新、二電新、甲乙、同拓、東亞、東興、滿毛、滿先、優新、日普　[illegible]

各地商品市況

▲橫濱生糸　後場　現物 [illegible]　當限 [illegible]　先限 [illegible]

▲大連麻袋　現物 三八錢　四月限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆　寄付 / 引　袋入 [illegible]　四月限 [illegible]　五月限 [illegible]　六月限 [illegible]　七月限 [illegible]　八月限 [illegible]

●同豆粕　現物 [illegible]　四月限 [illegible]　五月限 [illegible]

●同豆油　現物・四月限・五月限・六月限・七月限・八月限・九月限 [illegible]

●同高粱　現物・四月限・五月限・六月限・七月限・八月限 [illegible]

●哈爾濱大豆　五月限・六月限・七月限 [illegible]

●同小麥　五月限・六月限・七月限 [illegible]

●神戶豆粕　四月限・五月限・六月限・七月限・八月限・九月限 [illegible]

新京取引所市況(四月十七日後場)

現物(一石値段)　寄 / 引 / 出來高

大豆	一一、〇〇		一車
高粱			一車
小豆	三三、七〇		一車
玉蜀黍			

定期(混合百斤値段)

大豆 四月限	[illegible]		五車
五月限	[illegible]		十車
高粱 四月限	[illegible]		三車
五月限	[illegible]		四車

手形交換高(十七日)

金票 [illegible]枚　鈔票 一枚　國幣 [illegible]枚

鮮魚小賣相場(十七日)

百匁に付　品名 / 最高 / 最低

活鯛、氷鯛、中小タイ、黒鯛、チヌ鯛、アマ鯛、マグロ、カツオ、ユベ、ブリ、ヒラス、サハラ、サバ、メバル、赤ムツ、アイナメ、カレイ、ヒラメ、ボラ、コチ、コノシロ、キス、サワラ、イワシ、サヨリ、マカサ、ホッキ、カナガシラ、ハマグリ、チク、タコ、イセエビ、車エビ、カナゴ、アイナゴ、イタカ、イカ、水ダコ、コエビ、ナマコ、タイラ、アワビ、甲カニ、クロマグロ、貝柱、シジミ、カキ、マグロ切身、ユベ同、ブリ、カキ、サハラ、クチラ、カマボコ　[illegible]

東満

旅情を慰めるため 各驛で花を賣る
京圖線近頃好評！

【吉林國通】吉鐵に於ては京圖線を旅する人の旅情を慰め且つ好個の土産品として土們嶺農事試驗場に於て試作中の鉢付草花を站ホームで賣り又沿線の野原に豐富な福壽草等野生の草花をつみ六道河、老爺嶺その他の驛で愛路少年等をして賣らしめて居るが此の思ひつきは頗る評判がよく、すぐ賣切れて終ふ狀態である

入り大小匪賊の蠢動が豫想されるので、今回更に警備犬による車内の警備充實を圖り貨客の安全を期する見地から警備犬を一層增置することゝなり奉天撫順等よりセパート種優良犬多數を新に購入し目下之れが訓練を實施中である

中野廳長 九台、長春兩縣下視察

【吉林支局發】吉林省公署中野總務廳長は來る二十日より四日間に亘り九台、長春兩縣下の實情視察に赴くことゝなつたが、始めに下九台驛に下車して九台縣の實狀を聽取し翌日は新京に出で長春縣下の狀況を視察、更に萬寶山一帶の飮田水源地等を踏査した上で歸途に就く事になつてゐる

鮮滿商工會議所 理事一行の滿洲視察

【龍井國通】朝鮮滿洲商工會議所理事一行十三名は東北滿洲經濟產業狀況視察の爲來る二十二日清津發來間、先づ圖們を振り出しに牡丹江、延吉等を視察、朱乙に於て解散する事となつた、一行次の通り

京城商工會議所　理事　伊藤　正懿
新義州商工會議所　理事　飯野正太郎
太田商工會議所
清津商工會議所　理事　治田麗太郎
大邱商工會議所　理事　勝村　長平
平壤商工會議所　理事　吉田　由己
群山商工會議所　理事　津森　忠一
釜山商工會議所　理事　中尾　謹一
吉林商工會議所　理事　上田耕一郎
仁川商工會議所　理事　秋本　高吉
木浦商工會議所　理事　藤谷作次郎
開城商工會議所　理事　油谷　保三
元山商工會議所　理事　室内　益男
　　　　　　　　理事　章　勵夫

延吉帽子山麓に記念植樹

【延吉國通】間島省公署では來る四月二十日の植樹節に際し午前十時から延吉南方帽子山麓に於て盛大な記念植樹を行ふ事となつた

砲臺山に植樹 全滿綠化運動に呼應 吉鐵でも愛護村に苗木配布

【吉林國通】二十日植樹節を中心として中央政府が提唱する綠化運動は今や一般大衆運動として全滿的に高調されつゝあるが、吉林に於ても來る十九日午前十時より市の郊外砲臺山の綠化を行ふ事となつた、當日は在吉日滿官民學生二千餘人を總出動し唐松五萬本を植付ける筈で盛會が豫想されてゐる又吉鐵に於ても之と呼應して本年度造林用苗木として唐松四十五萬本、イタチハギ五萬本を沿線各愛護村に配付し本月中には植付を終了する事となつた

二道溝附近の痲疹終熄

【龍井國通】既報、二道溝大邱山及び附近部落に發生せる痲疹は其の後二道溝分署、朝鮮人民會の協力に依る必死の防疫で漸く下火となり漸次終熄の模樣である

ハルビンに ヤマトホテル
北鐵理事會館を改築して 十月より開業す

【大連國通】滿鐵の旅館經營は今後和式旅館に觸れず專ら洋式ホテルの經營改善に專念し、入國外人の滿洲國に對する認識の向上に資する事となり、十一年度に於ては約六十萬圓の經費を投じてハルビン舊北鐵理事會館を增改築しハルビンヤマトホテルとして今秋十月頃開業することゝなつたが、引續き十二年度以降滿洲國內主要地にホテル開業を計畫し既に承德、吉林等に設置することに略々內定し、新京淨月潭には滿洲國政府の希望によりホテルの外特にバンガロー數棟を建設する計畫である、尙本年度はハルビンヤマトホテルが開業するので滿鐵では近く從事員約廿名を新採用し開業までに訓練養成する筈である

各鐵路局土地股長會議開催

【奉天國通】鐵路總局では鐵道經營の附帶事業として土地經營を行ひ康德二年度に於る同地收入は二百萬圓に達し豫想以上の成績を上げて居るが更に經營の積極化を圖る爲十六日午前十時より總局に於て各鐵路局土地股長會議を開き本年度に於る經營方針並に沿線產業の助長策について協議を爲した

遊覽地として開放、五月一日より開場する事となつた

鐵路總局では本年度より經費五萬圓を投じ右三ヶ所に遊覽施設の補修新築を行ひ遊覽地に惠まれない北滿人の夏の行

中井出に 懲役三年求刑

【大連國通】昨年九月十七日午前四時頃逃げる滿人竊盜犯人を追ひかけて拳銃を以て射殺した當時關門滿鐵建設局警備員中井出淸次（三九）にかゝる殺人事件公判は十六日午前十一時より大連地方法院中里裁判長、高橋、永田兩判官陪席、米田檢察官立會ひの下に開廷、事實審理に入り被告は拳銃發射は無我夢中の中に發射したものであると犯意を否認したが米田檢察官は殺人罪は成立するが匪賊跳梁の地とて情狀の點から殺人刑の最短刑懲役三年を求刑木原辯護人の辯論があり、次回言渡しは二十三日午前九時となつた

南滿

奉山沿線の植樹週間 綠化思想の普及
奉鐵第一期計畫に乘出す

【奉天國通】「植ゑよ苗木」「育てよ植木」曠漠たる滿洲の野を少しでも綠化して旅行者の眼を樂にしませうと奉天鐵路局では愈よ十七日から向ふ一週間第一期計畫として奉山沿線の植樹週間に乘出す事となつ、當事者は村民に綠化の思想を普及のためパンフレット及び宣傳ポスターを配布植樹の指導、獎勵を行ひ以て綠化の徹底を期し、奉山沿線各村を綠化しやうと意氣込んで居る

第二軍管區主催 建國犧牲者の慰靈祭

【吉林國通】第二軍管區司令部に於ては吉興司令官が祭主となり來る二十日午後一時より日本居留民會公會堂に於て滿洲國軍創設以來同管區內の尊い討匪線に建國の人柱と化した王中校以下七百十體の合同佛式慰靈を執行する事となつた

車內警備に軍犬配置

【吉林支局發】吉林鐵路局にては匪襲其他突發事故の發生に際し之れが警備對策の一として管內沿線の旅客、貨物列車に警備犬を便乘せしめてゐるが、近く又草木の繁茂期に

濱洲沿線景勝地に避暑遊覽施設
―總局が五萬圓を投じて―

【奉天國通】濱洲沿線富拉爾基、札蘭屯、巴林は北鐵接收前避暑遊覽地として北鐵從業員間に喜ばれてゐたが現在では遊覽客も杜絶え諸種の遊覽施設も荒廢に任せてゐたが、

朝鮮

各方面の要望を容れ 市街地計畫決定
各種弊害恐れて府當局自重
六月中旬 第二回委員會召集

【京城支局發】京城府の市街地計畫は計畫區域の決定を見たのみで未だ街路網計畫をはじめ地域、地區、區劃整理等の決定をみないため事業計畫樹立に至らず各方面から右諸計畫案の早急決定を要望されてゐるが就中住宅經營者や建築業者はこれによつて當局の許可を得られず相當支障を感じてゐる、總督府としても之等の事情を參酌してその決定を急いでゐる模樣である街路網計畫や地域の決定は愼重考慮を要する問題で地價の不當釣上やその他これに伴ふ種々の問題の惹起を慮り今日まで市街地計畫の如何なるものであるかを一般民衆に周知せしむるため右諸計畫の決定を遷延したかの如き節も窺はれるのである、併し機は既に熟した感あるため總督府では愈よ來月上旬又は中旬これを京城府に諮問しその答申を俟つて六月中旬各道土木課長會議終了直後第二回市街地計畫委員會を召集して意見を徵し最後的決定を與へることゝなつたなほ總督府では右市街地計畫委員會に淸津の市街地計畫における地域羅津の地域及び地區（區域）街路網區劃整理は特に決定並に城津の地域、地區の決定についても諮問をなし決定を與へた上はこれ等各都市における建築物の許可を促進する方針である

都山流尺八演奏會開催

【瓦房店支局發】瓦房店在住の都山流尺八愛好同志者による的琳會は本流開基四十週年奉祝會を十八日午後六時より倶樂部に開催、祝賀記念演奏として左記により開演するが特に鞍山大連等よりの大家應援出演もあり盛會を豫想される、演奏プログラムは左の如くである

△一部＝八千代、黑髮、金剛石、春興、雲のあなた、初便り、春の訪れ、小島の寢さ、武藏野、曉き給ひそ、うわ△二部＝摘草、春の夜、虫の武藏野、曉き給ひそ、磯千鳥、軒の雫、岩淸水

滿洲國軍訪問記（二）
討匪の前戰に脈搏つ 一面坡混成部隊
ハルビン國通　杉原特派員

薄汚い紺の背廣服に臙の緒切つてはじめて身に附けた滿軍の防寒帽に外套、それに不恰好な綿製の防寒靴といつた扮裝に身を固め、記者は三月廿五日午前七時五十分ハルビン站發綏芬河行列車に乘つて早廻り記のスタートを切つた

沿線は一面に白皚々たる殘雪で春とは言へ北滿は未だ多の面紗に蔽はれ、雪に映えて陽の光がチカチカと眼を射る

×

正午一面坡着、雪解けにぬかつた路を驛東南約三町、岩越○團田邊部隊本部に隣接した混成第○○旅司令部を訪ねた軍事教官黒岩中佐に刺を通じると

やあ、君が來ると云ふ通知を昨日受取つた許りだ御苦勞さま

と云ふ挨拶で居合せた參謀長毛星館中校に紹介される、長身白皙の青年將校である、こゝの旅長は鄧雲章少將で、例の「日本人此處にあり」で有名な村上条太郎氏一行の遭難事件の際日本海軍防備隊と協力して勇名を馳せた人である其の後の武勳目出度く今日旅長の要職にあつて部下の信望を集めて居る、目下○○方面に出動中との事であつた、直隷追擊砲連も帽兒山方面に出動中で、兵舍は空つぽである

最近の討伐は去る○○日張連科匪の蟠居する三股流方面掃蕩の爲め開始され、各部隊一齊に出動して居る

かうして日滿軍は昨秋の大討伐に引續き間斷なく肅正工作に當つてゐるのであつて、現地に一步足を踏み入れる時將兵の勞苦は寒々と身に泌みる

「僕も昨日前線から歸つて來た許りだ」

と雪燒けした赭顏に逞しさを見せて黒岩教官は語る

「十八日帽兒山の討伐司令部から騎兵一個連を率ゐて五常堡に行つた、地圖を見ても判る樣に途中山岳と密林地帶で然も間道を拔けて驢や馬を利用して行くのだから骨が折れる、五常堡に着いてから今度はトラックで附近の非常偵察に出かけた、ところが雪解けでトラックが滑つて顚覆し隊員は投飛ばされて打撲傷になるし、僕はどうかと言ふと運轉臺に乘つて居て扉が開かず、かうして逆立になつた儘でね、酷い目に遭つたよ匪賊は怖くないけどこれには參つた」

と教官殿は滿面に爆笑するのであつた

こんな話の間に扉が開いて副官が入つて來た戰鬪報である

「昨日老爺嶺附近部落を張連科匪の青年隊八十騎が襲擊し、人質二十名、馬四三十頭を拉致した、急報に接し原澤中尉は珠河縣治安隊○○名を指揮し今曉五時現場に急行したがその後の情況不明である」

と言ふ報告で

「正午頃同方面から歸つて來た農夫の話では遠く銃聲を聞き機銃の音がしたと言ふ事であります」

一瞬黒岩教官の顏がピリッと緊張する

「よし應援部隊を出せ、騎兵○○團は歸つて來たか？」

「正午珠河原隊に歸還しましたが兵は皆疲れて居ます」

「兵が疲れて討伐が出來んと言ふ法があるか人命救助は一刻を爭ふのだ、直ぐ出動準備をしろ」

斯くて午後三時應援部隊は長驅積雪を蹴つて出動した、寢食の暇もなく討匪から討匪へ動いて行く部隊の姿であつた

留守隊の兵舍を見せて貰ふ、御眞影が黃布に覆はれて正面に掲げられ、その下に勅諭や軍人誓文が訓示されてある、簡素な兵舍ではあるがキチンと整頓され、新興國軍の軍紀を感じさせるものであつた

尙ほ此處で混成第○○旅緣下各部隊の昨秋大討伐に於る成績を示せば

戰鬪回數三一、我方戰死三負傷六、敵の遺棄死體一七七、同負傷八八、遭遇匪數一、七八四、鹵獲品小銃五〇、拳銃八、馬四七

と言ふ輝しい戰績を收めてゐる

×

夕方旅宿に橫山中尉が訪ねて來て

「敵彈の下に一度び部下と共に身を曝して見れば實に兵が可愛くなつて來る」

と言ふ話をする

文字通り滿軍將兵を生死を共にするからである、民族の垣根は一瞬にして取毀され優越感は吹つ飛んでしまふ、身心共に徹した日滿一體の融和感がそこにある、それは尊い武人の體驗からのみ聞き得る警世の言でもあらう、かうした述懷は國策遂行の第一線に獻々と立働く、日系軍官諸士の齊しく語る言葉であつて感激に充ちてゐるものであつた

記者はこれ等を一纏めにして後記したいと思ふ

家庭

婦人を狂人にする ヒステリーの症狀
これからだんく多くなる 發作時の手當と療法

ヒステリーと云へば誰でもすぐ癲癪持ちの女性を想像し本來の精神病も神經衰弱も神經病質も一緒にしてしまつて

婦人病 に關係あるからヒステリーは女にばかりあるものと思ひ神經衰弱は男にばかりあるもののやうに見做されてゐますが、本當のヒステリーはそんな生やさしいものではありません。御存じの様にヒステリー婦人は家庭的にも社會的にも恐ろしい悲劇をかもし出し『あんなに優しかつた人が……』と云はれる程、常人には想像もつかない犯罪を犯したりします。ではヒステリーの

症狀は どんなものかと云ひますと今泣いてゐるかと思ふとすぐ笑ひこけたり、浮いた調子で騒いでゐると思ふと急に沈み切つてしまふといふ風に、些細な動機に對して激しく感情が動くのです。その上暗示性が高まつて一度お腹が痛むとまた起りはしないかと心配する。さうするとすぐ苦しくなつて來る、それから物事にアキッポくなつて仕事をしても長つづきがせず、自慢話をしたり平氣で嘘をついたり、俗にいふ氣嫌買ひで我儘であるのが特徴です、その上特有な症狀としては下腹から胸の方に球や捧のやうなものが、こみ上げて來、非常にいやな氣持がして苦痛を訴へます。これは神經の感覺が鋭いため胸や脊筋や手足などが神經病の様になつて痛むのです。

本當に そこが病氣ならいつも同じ處が痛みさうなものですが、あちこちと變る處が特有な現象です。またこれとは反對に手足がシビレたり、下駄をはいても感じがなかつたりするので中風や脚氣と間違へて心配する人があります。なほ著しい症狀として痙攣の發作を起し子宮や胃の痙攣が激しくなり全身が痩せ細り誇らしく輝いた容貌も醜く變り果てて來ます。そこで原因は何かと云ひますと生來變質した性格の異常即ち素質が遺傳的にある處へ不意に非常に感動した場合とか、姙娠當時の身體の變化とか心身の過勞とか飲酒をしたり熱病にかかつたりした事など手傳つて起るものです。年齡は青春期に多く田舍の人よりも心身を疲勞させ

刺戟し 易い都會人に多く、家庭生活の最大障害となつてゐます世間ではこの病氣になると容易に治らぬものと決めて放つて置く人が多い様ですが、その爲めに當人は勿論のこと家庭生活が凡て破壞され、恐ろしい結果を惹き起すことが多いのです、けれどもこれは決して不治なものではなく適當な手當に依つて必ず治るものなのです。で一般的な豫防法としては身體を強壯にして精神を健全に鍛練し、神經質の者は、ふだんから

消化し 易い滋養物を取り充分に安眠し興奮するやうな小説などは讀まないことです、治療法としても精神を安靜にすることが第一で、病人が我儘を云つてもなるべく叱らないで慰安を與へることです。安眠の出來ない人には適當な運動をさせ氣の向く編物とか裁縫とか園藝とかをさせて氣永に治療することが大切です。

お料理獻立
たこ算木作りと薄打胡瓜二杯酢

酢のものゝ喜ばれる季節になつてまゐりました、たこは御酒のお肴に喜ばれるものでございますから、ちよつと庖丁の用ひ方を變へますと目先きも變ります。算木つくりを申上げてみませう。

【材料】(五人前) たこ七十匁、きうり二本、鹽茶匙一杯、生姜少々 二杯酢分量 酢五勺、醬油茶匙二杯、調味料少々

ゆでたたこは端から二分切、又縦に二分切の算木切とし、鹽もみして小口切とし酢どりした胡瓜と合せ盛つて二杯酢をかけます。

DA'

ドウシタノ!!

カラクダ

何処ヘ行キナサルノ??

ガソリンヲ買ッテ來ル、スグ戻ル

◎春……摘み草(内地便り)

春のお化粧は ―口紅と頰紅で お求めの時
▽……こんな知識が必要

口紅には、御承知の様に水紅、煉紅、棒紅とありますが、棒紅が、今最も多く用ひられてゐます、水紅も煉紅も、棒紅よりははげ易くしかも携帶に不便だからでせう。で、口紅をお求めになる時は、出來るだけ分子の細かい、ムラのないものをお選びになることが必要です

◇……◇

手につけて見て、ザラザラとつく樣なものはよろしくありません、滑らかにつくことが必要です。又手にぬつて見て、非常にのび易いものはよく、つきますけれどもはげる事も早いのです。寧ろノビの惡いものの方が永持ちいたします。つけた時とつけてしばらくしてからと紅色の色が變るものがありますが、色の變るのは色素の中に水に溶解し易いものが含まれてゐるからです―つまり口唇から分泌する水分に紅の一部分がとける爲に色が變るのです、頰紅―コンパクトの頰紅は酸化亞鉛、滑石末、澱粉、白陶土、白亞等を混ぜたものに對して色素を二つの割合に混ぜ、よくすつてフルヒにかけ、アラビヤゴムを入れてかためて、壓しをしたものです。

◇……◇

これも手に塗つてみてサラ〳〵するものは、よくありません。頰紅は、理想から云つたら粉のものがよろしいのです。たゞこれは携帶に不便ですからコンパクトのものが多く用ひられます。水紅や煉紅はあまり感心出來ません。水紅は厚化粧の前にお顔にお塗りになる位のものです。

今年の洋裝は、俄然 スワガーコートの氾濫
羽織に馴れた日本人には案外樂に着こなせる

重つくるしい防寒外套やコートをサラリと脱ぎすてて、早や街路樹の梢のポーッと蒼みかけた國都新京のペーヴを踏むこのごろのうれしさその歡びをハイヒールの輕快なリヅムにのせて、この春の洋裝は俄然スワガーコートの氾濫を見るでせう。そのスワガーコートも、昨春あたりからボッボッ見え初めたワンピースとのアンサンブルであること、尠くともコートの下から覗くスカートは必ずアンサンブルであることが條件です。ピッタリと身に合つたタイトなワンピースの上に、これはわざと胴のあたりをパクパクさせて、裾にいくらかのフレヤーを見せたコート

コートの丈は 六分から七分といふのがモードです。背の低い日本人にどうかしら? つて疑念も一應もつともですが、元來羽織といふものに馴れた日本人なんですもの、案外樂に着こなせませう。春風に吹かれてフワフワッとする感觸なんかむしろ日本の女性に一番親しいものかも知れません。この服はもともとスポーツ好みの事務室でお召しになるのでなく外出用のものなんですから、生地は相當の厚さを持つたラフな感じのもの、例へばブッブッと節の立つたウールのアストラカン織のやうなものが好適です。靑葉の頃にもなつたら

人絹とウールと の交錯でザラザラした輕い生地、シルクの厚い生地に荒いしぼを立てたものなども惡くありますまい。

春ですからどうしてもグリーンが基調になりませうが、若いお嬢様でしたら臙脂系か又は赤味の勝つた明るい茶色など却つて効果的でせうし、中年後の方なら紺、鼠も無難ですが焦茶系の淡色もなかなかお上品なものです。明るい春に召すコートなんですから色も思ひ切つて明るい色を選んでも危つ氣がありませんし、若い方でしたら相當大柄のチェックでも決して可笑しくありません。おとな向としては

霜降風のもので その霜降の中の一色をとつてミシンステッチの太い飾りを入れたものなど、この春の最も新しいシイクな好みでせう(中山女史述)

新京高等女學校 旅行團通信(第八信)
日光へ

四月五日 朝の日ざしを顔一面に受けて昨日戴いた校長先生の電報で一層、力を得た私共は八時三十分宿を出發した。新京では見られない地下街を通りぬけやがて日光行の列車に乘る車中はどの車もこんでゐて、席を見つけるのに一苦勞だつた一つの椅子に窮屈さうに三人もかけてゐる方もゐた。お客様の中には、私共の言葉が東京辯だと言ふので、だぢ〳〵東京の女學生と間違へられた列車はむさくるしい家屋の軒並を通り拔け、約二時間余りも走つたと思ふ頃、はるか左の窓ごしに男體のそれらしい山々が見えはじめた。丁度十時三十分「日光〳〵」と言ふ車掌の聲に皆いそ〳〵と列車から降りた、日光は東京に比べるとはるかに寒く、外套の衿をかき合す人も少くなかつた。改札口に居並ぶ客の中には遠く見物に來たらしい外人の姿もまれ〳〵見えてなんとなく嬉しい氣持にさせられる。間もなく私共は十數臺の自動車に分乘して中禪寺に向ふ。左の窓に多摩川御用邸を拜し帝大植物園等を通りすぎて行くと遙か右窓に裏見瀧が白いしぶきをあげて掛つてゐる。驛から約一里二十丁程行つた所には、かねて聞いてゐた丹色の神橋が見え白く碎けて流れて居る大谷川の川瀬の音に日光の朝の美しさをしみ〴〵と味はつた。「これから急カーブにかゝります。此のカーブは四十八あるので、俗にいろはカーブとも言ひます」と言ふ運轉手さんの説明を聞きながら、幾カーブをするとすぐ右手に切り立つた岩が見える、それを「屛風岩」と言つて、夏はよく猿が下の方まで降りて遊んでゐるとの事である。登り詰めた處で自動車を降りビショ〳〵の雪どけ道の中を華嚴の瀧をさして行く。瀧見茶屋から瀧見臺に至つて展望したが、生憎寒さのために凍つてゐてあれが豪壯な華嚴の瀧かと想像のつかない程あはれな氷柱姿となつてゐた。再び歩を返し、亭々として聳えたつ白樺の林をふきにたへ雪にまろびつゝやつとの思ひで中禪寺湖畔の茶屋までたどりつきお辨當を開いた。すつかりお腹の出來た一行は茶屋よりほど近い中禪寺に參拜する。ボートの浮んで美しいと聞いてゐた中禪寺湖も寒さのために半分以上は凍つてゐて僅かに中央だけが濃藍色の小波をたゞよはせてゐた。眞白な男體山を背景にした紺青の湖まさに絶景だ、やがて明智平までバスに乘り海拔四千二百尺の高地から夢心地であこがれのケーブルカーにのつた。何れを見ても山又山、谷又谷眞白な雪を雲間から眩い太陽が照してゐる。こゝは春は綠秋は紅葉多はスキーと四季に渡つての山水美の極致ださうだ數千丈もあらうと思はれる谷々を遙かに見下して降つて行くのは實に壯快だ。やがて馬返につきそこからバスで東照宮に參る。大猷院廟の青赤と色彩の濃厚な二天門は背景の深綠と相映じて一層美觀を加へてゐる。この門を入ると上、中、下の三神庫があり何れも板倉造で皆趣を異にして造られてゐる。中でも上神庫の妻に浮彫にした想像の象は格別おもしろいものだつた。こゝを通つて石階三十七段をのぼれば牡丹彫刻の「夜叉門」や唐門がある「唐門」を一に「鑄拔門」ともいひ青銅製の鑄物であるとか。更にその門内には、德川三代將軍家光公の御尊骸が鎭められてあるといふ御寶塔等を見て二荒神社に向ふ途中老杉枝を交へて天日を遮り、階を重ねる毎に幽の身に迫るを覺える。社前にはお化燈籠や神樂殿があり「高野山」の老樹は權現の神木として石柵を繞らされてゐた。こゝより少し行くと神廐があり、その長押の上の欄間にある三猿の彫刻はすばらしいものだつた。朱塗の廊下づたひに拜殿に行つて參拜する。拜殿の内部の天井には「百内百種」の龍と稱し、中央の間の天井の欄間毎に岩繪青地にそれ〴〵異つて丸龍の畫かれてゐるの等を見て、今更乍ら昔日の日本の文化の尊さ豪さを考へさせられましたあの名高い陽明門は鐘樓、鼓樓の門を通ずる參道の正面に一段高く立つてゐて華麗壯嚴を極め彫物細工等のこま〴〵としてあるのには感嘆した。が同時にあの有名な「ねむり猫」の小さいのには少なからず期待外れがした。やがて紺碧の樹林を背景とした美しい五重塔を見て歸途につきネオンのにぎはしく輝き始めた頃疲れた足をひきずりながら宿に着いた

ラヂオ けふの番組
(M・T・C・Y 新京放送局) 十八日(土曜日)

朝
六・〇〇 建國體操
六・二〇 ラヂオ體操(東京)
六・四〇 中等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七・〇〇 中等日本語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七・二〇 氣象通報(大連) 引續き 朝の音樂(レコード)(大連)
管絃樂 (イ)ラインの乙女の唄 (ロ)前奏曲 ワグナー作曲ウッド編曲 エルネフエルト作曲 倫敦クインス・ホール管絃樂團 指揮 J・ウッド(東京)
八・三〇 經濟市況(東京)
九・〇〇 早晨演奏(奉天)
九・二〇 料理獻立(大連)
九・四〇 經濟市況(大連)
一〇・〇〇 家庭講座 和服の色と柄に就て(下) 水口薇陽
一〇・二五 家庭メモ

晝
一〇・三五 經濟市況(大連)
一〇・四〇 經濟市況(東京)
一〇・五九 時報(東京)
自前一一・〇〇 至後五・〇〇 野球試合實況(東京) 東京大學野球聯盟リーグ戰 ‖明治神宮外苑野球場より中繼‖ 法政對慶應 帝大對明治
左の時間には野球を中斷す
一二・〇〇 ニュース(東京)
一二・〇一 經濟市況(大連)
一二・二〇 ニュース(滿語)
一二・三〇 經濟市況(大連)
一二・五〇 經濟市況(東京)
一三・〇〇 ニュース(東京)
一三・三〇 經濟市況(大連)

野球放送なき場合は左を追加す
一一・四〇 ニュース(東京・引續き新京)
〇・〇一 經濟市況(大連・引續き新京)
〇・二〇 晝の演藝
建國體操
演藝(滿語)
演藝(滿語)
演藝(滿語)
日用品値段
三・〇〇 (大連市況に引續く) ニュース
三・三〇 經濟市況(東京・引續き新京)
四・三〇 ニュース・演藝(大連・引續き新京)
四・五〇 ニュース(英語)

五・〇〇 子供の時間(大阪) ‖桃谷演奏所より中繼‖ 連續漫畫劇 志子のいたづら日記(四)四月の巻 チュウチュウ座
五・二〇 コトモの新聞(大連)
五・二五 氣象通報・番組豫告

夜
六・〇〇 ニュース(東京)
六・二〇 今晩の番組・官廳公示
六・二五 政府公報(滿語)
六・三〇 長唄(東京) 八犬傳(義實別れの段) 唄 杵屋六寨慶 外 三味線 杵屋六登志 外
六・五〇 花めぐり(第七日)(東京) 軍港の櫻 ‖横須賀衣笠山より中繼‖ 横須賀港響管絃樂團 指揮 米倉青峰 唄 輝吉外横須賀市連中 横須賀海軍工廠の歌 外四 鹿島セブン 御園ラッキー
七・二〇 連續ラヂオ・ドラマ(大阪) 新撰組(一) 子母澤寛原作 JOBK文藝課脚色 前進座 近藤勇 河原崎長十郎 森平八 瀨川菊之丞 土方歳三 中村翫右衛門 外 解説 嵐芳三郎
八・〇〇 時事解説(東京)
八・三〇 時報・ニュース(東京)
引續き ニュース
八・四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告(滿語)
九・〇〇 演藝(奉天)
一〇・〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

學藝

愛情への距離

丘 滿洲三

我が家の女中は代々子供好きである、女中がいつも僕の子煩惱を代行してくれる、子供と女中がお互ひに愛情に結ばれてゐるのは親として氣持のいゝことである、子供の盲目的な愛情と女中のひたむきな愛情が一つに結合してゐる情景はゴーガンの繪を見てゐるやうに野性的な美しさを感ずる。

四月十三日—僕の家の女中通稱アーヤを送る爲め八才の長女と三才の長男をつれて新京驛へ行つた、アーヤは故郷である福島縣に嫁ぐべく新京を去るのである。

アーヤはホームで三才の坊やを抱いてゐたが、發車の時間が迫つたので僕は坊やを受取らうとした、アーヤは發作的に坊の片手を握つて泣いた、車に乘つても恥しいのか向ふをむいて泣いてゐた、坊やは驛の雜踏に氣落ちがしたのかボンヤリしてゐる今の中に坊の顔を見て置けばいゝのにと思つてゐる中に汽車は動き出した、向ふをむいてゐたアーヤは狂喜のやうに兩手を硝子窓に押しつけ坊やの顔を探し求めた、その瞬間何と思つてか坊やは合憎後を向いてしまつた。後に列んでゐた兵隊さんに氣をとられたのであらう僕は狼狽して坊の顔をアーヤの方へ向けてやつた、坊やはキヨトンとして走り行く汽車を眺めてゐた。

歸途のバスの中で坊やは初めて『アーヤどうした?』と何度も訊いてゐた。

一昨年九月生後六ヶ月の坊やを滿洲につれて來る時アーヤも東京からつれて來た、大連までの船中坊やをオンブして甲板を一日歩いてゐた時から一年七ヶ月、アーヤはなめるやうにして坊やを可愛がつて來た、朝、目が覺めた時、晝寢から起きた時、坊やは必らず一聲高く『アーヤ!』と叫んだ、嚴寒の頃も消費組合に行くにも必らず坊やをオンブして行くアーヤであつた。

家に歸つて坊やと遊んだ、オドケて遊むでゐる無心の顔を見てゐるとふと今頃汽車の中で揺られてゐるアーヤは、遊んでゐる坊やを想ひ浮べてゐると思ふとたまらない氣がして來た、坊が笑ひ、オドケ騒ぎ、泣きしてゐる背後にアーヤの愛情が懸命に覗いてゐると思ふとイヤな氣さへし來た。

我が家のアーヤは二代目である。初代のアーヤは長女が生れる前から六年間、長女が滿洲に來るまでついてゐた、既に婚期に達してゐたので無理に暇をやつて來た、東京驛で汽車が動き出した瞬間アーヤは痙攣的に顔をゆがめて泣いた、初代のアーヤが東京驛で示した愛情の絶望をまた新京驛で二代目アーヤの顔に見たのである。

二人のアーヤとも惇樸な女であつた、昨年四月一家が東京へ行つた時初代のアーヤは茨城縣からやつて來て一日長女の傍についてゐた。

夜、シエストフの悲劇の哲學をひろひ讀みした、シエストフのニイチエ論は何度讀み返しても面白い、學生時代讀むだ阿部次郎の三太郎の日記の中に『ニイチエの距離』といふ論文があつたのを想出した。ニイチエが老いたる麗金作りシエウペンハウエルと別離し、ワグネルの文學的馬丁を脱し最後に愛する妹とも背き去つた心的經路をシエストフも抉剔してゐる。『人生は別離であり距離である!』とか何とか書いてゐたのを覺へてゐる。

二人のアーヤは東京驛と新京驛で主家の子供にこのニイチエ的距離を感じたのである、そして僕もそれを感じさせられた。アーヤと坊やの別離は單なる、滿洲らしい情景に過ぎないかも知れない。併し何となく唯悲しいとか淋しいとか云ふだけでなく何か何時までも殘るやうな或るイヤなものがある、坊やをもし一度福島までつれて行つてアーヤに存分抱かしてやらなければ割り切れないやうな人に迫るものがある。『距離だナ』と感じた。

滿洲にゐる人々は皆この距離を感じてゐるのではないか、また母國の人々も滿洲にゐる人々に同じやうな距離を感じてゐるのではないか、早くこの距離をなくしたいものである。

般若心經（二）

鹽谷壽石

文曰「依般若波羅密多故」

美しい地平線

泉 芳雄

體のなかに　もりあがつてくるもの　白い脈打つあなたの腕が　私の美しい地平線でした。

今日も憂かるは・裂ける樣な砂塵風にバラ／＼になつた肢體の片々だ。　この感情に映

ねばりつぽひ　たくましいこの若さ　夕空に逢へば佗びしい一つの悔ひが殘される。

カバンによりかゝつたまゝの姿勢で　車窓をみてゐる外燈柱にもたれてゐる女の多彩な影想。

鉛筆で話しかけてくるこの滿人　微笑みながら　ふとわびしみにふれてしまふ。

新京短歌會詠草（續）

○老藏相もやすやす撃たれゐにけるとにうす讀みつつ心さわぎぬ　桃北 好澄

○誰をも信じられないまばらな感情がいとしくて力一ぱい私を呼びつづける　早乙女國枝

○つぼみから昇天するいくつもの溜息月のない夜靜かに告白つてゐる淡雪のおもさ　泉 芳雄

○市街の音に心は湧くよ君と歩む春の香の亂舞する舖道　稻垣 輝安

○窓ゆ入る朝日の陽にうれしさを深く保ちて縫ふ人仕事　關谷 ふぢ

○のろき馬車の好もし春の陽をあびて南嶺の街路内二人ゆく日は　肥後樹一郎

學藝消息

△PCLトーキー・ストーリー募集締切迫る　キネマ旬報社計畫部で募集中の「女を主題とした」ストーリー募集は四月三十日の締切であるが、滿洲國からは四月二十五日迄の消印ある郵送はこれを認める由

△『運動と趣味』四月號發行　大連西村牛旗氏主宰の同誌は三月號に續き四月號を旣に發行した、尙奉天の今久雄氏は同誌から關係を絶つた

△『日華大辭典』包象寅、宮島吉敏、平岡龍城、張廷彦四氏合著の同辭典は東京芝田村町、東洋文化未刊圖書刊行會から刊行されることとなつた、全三卷で定價は各卷十二圓

新刊

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△工作月報（三月號）板垣少將「滿洲建國を顧みて」牛田敏治「新京特別工作に就いて」前者は先般の公會堂での講演、後者はラヂオ演の原稿、外に會の記錄の外、吉田氏稿「事變に至るまでの間島」二」等がある（滿洲國協和會、非賣品）

△新天地（四月號）上野友藏「ソ滿國境紛爭問題の檢討」岸田英治「對支三原則と北支那問題」由利元吉「發芽を待つ中・小工業」大島大平「事變後の滿洲土建界」西原拓平「實業部人物月旦」ほか小篇多數と文藝等（大連市楠町三、新天地社、三十錢）

△春郊　新京詩人倶樂部の第三輯である、白河諒氏の詩「海と音樂」伏木龍三郎氏の詩「滲愁」が注目される、山谷三郎氏「長城にある傳說から」は平板さが考へさせる辛味を時局に對して持つてゐると言へる、佐和山一郎氏の「滿洲の風」も話術の面白さはあるが少し骨のあるのを書いてほしいと思つた（新京曙町二ノ十三新京詩人倶樂部、十錢）

△軍鐸（第二十一號）菊倍八頁のリーフレット、全滿文、文藝欄は滿洲國軍人兵士諸君の作品で注目に値ひする、新詩、戰國動作の一節を日譯すると「暖い風よ、心ゆくまゝに吹けよ戰場での氣持をそのまゝに人間の耳膜に達せしめよ」等（第一軍、管區中央宣傳委員會）

△滿洲評論（第一〇卷第一四號）時評に「植田大將を迎へ南大將を送る」「滿鐵十一年度豫算の檢討」「糧棧廢止の可否に就て」の三篇、ともに注目すべく岩崎政美「中國經濟の現情勢」本號で完結」沼鏡治「蒙古人部落を訪ねて」は漢人對蒙人社會生活の實相を示す、原幸夫「中支遊記」は杭州と蘇州の近狀を語り山口愼一「大陸春光濃」は滿支論壇時評で最近の滿洲製良書佳文を摘發してゐる、壁報の二篇又面白く讀めた（大連市山縣通一八、滿洲評論社十五錢）

官場現形記（35）

李寶嘉作　山泰裕譯

‖第三回の十一‖

その翌日は細君の誕生日に當つてゐたのだが、この事件が起つたため、みんなが興味を失つてしまつた、細君は戴升と相談して、呼んである役者も取消にしやうと考へた。

戴升は旦那にしくじりがあつたのを見るや、誰も無駄な金を費ひはせぬ、成り行きまかせだと考へて言つたものである。

「みんなも旦那が御心痛の次第は判つてゐますよ。奥さんからさう仰言るのでしたら、又日を改めてお祝ひをやる事にしませう。」

そして部屋を出ると、芝居のマネーヂヤーを呼んで言ひつけたものである。

「もう唱ふこと要らん!」

マネーヂヤー氏は言つた。

「旦那ア! あなたからお言ひつけがあつたからやつと役者を揃へたんですよ。まあうたはしてやつて下さいよ」

「要らんと言つたら要らんよもう君は歸れ、ここでゴタゴタ言つたつてあとが面倒だぞ!」

マネーヂヤー氏はやつつけられた貌であつた。何でも此處の主人の惡い噂も耳にしてゐたので、これは失敗したわいと、スゴスゴと引き返す外はなかつた。一方、戴升は役所の方にも事の次第を報せてやつた、みんなは、若干助かつたといふ氣持であつた。

午後になつて、大人はベッドから起き上り、顔を洗つて飯を食つた。一言も發しなかつた。それから阿片をすました頃はもう燈りをつける時間になつてゐた。戴升がやつて來て言つたのである。

「あちらではもう用意が出來てゐます、今からいらつしやいますか? それとも夜の御飯が濟んでからになさいますか?」

黄大人は

「夜食を濟ましてから行く」

と答へた。

元來、この黄大人の夫人は物識りの方であつた。夫が官位を引き下げられたのを知るや戴升に言つたものである。

「もう旦那樣はお出掛けにも綠羅紗の轎には乘れないね。あの舊い藍羅紗の轎は轎子店に返してしまつたんだから、お前何處かありあはせの家へ行つて借りておいでよ。」

「でもまだはつきり定つたわけぢやないでせう、電報が來ただけですから。まあ今日は元の儘でいいと思ひますよ。明文が來てから換へたらいいですよ。それに他家から借りるつても面子上具合が惡いですからね」

夫人は

「私の考へでは、事件は噓ぢやないと思へるよ。又綠羅紗の轎に乘つて役所に行つて人から何彼と言はれるより、早く交換した方がいいだらうぢやないか。ああさうだ、家に他家から貰つた藍の大きな布があるからあれを取り出して掛けることにしやうよ。」

さう言ひながら、第二夫人や令孃たちと一緒になつて早速箱を開き、藍の布を引つ張り出して戴升に運び出させたのであつた。

やがて戴升は門番のゐる部屋に引き返してから斯う言つた。

「さあどうも家の旦那は全く可哀さうだぜ、うまく綠色の轎に乘れる身分になつたかと思ひや、五へんと乘らぬうちに、もう駄目になつたんだからな。奥さんは藍色のを掛けろと仰言る、言ふのは容易だが轎子店出身の者が誰かゐるか? おれはやれんぞ! まあ旦那はぼんやりしてしまつてゐるのだから、今夜はあのままでもう一ぺん乘せてやるさ。そして明日になつたら轎子店の男を二三人借りて來るんだ道具を持つて來させりや此處で出來るわけだ。」

結局、黄大人が綠の羅紗の大きな轎に乘つて役所に行つたかどうかは、まあ次の回を御覽になれば判ります。

（第三回了）

本社主催を皮切りに 賑ふ新京野球界

明大、東鐵、巨人軍の超弩級 陸續と國都を強襲

〝クククク〟新鋭強豪の　新選手を迎へ新京倶樂部は今年こそは黄金時代を築かんと各選手は毎日猛練習を開始してゐるが一方内地のリーグ戰をラヂオで聞いて漸く憂鬱をはらしてゐる野球ファンはたまりかねてグランドに乘り出し練習試合で虫を押さへてゐたが二十五日から開始に決定した本社主催第三回新京硬式野球大會の報にどつと歡聲をあげ、早くもその日を待たれてゐるが、更に十七日ファンを飛び上らせる〝クククク〟快ニュース　が地方事務所に齎らされた、と言ふのは來年外來遠征チームのトップを切つて東都大學の荒鷲、明大軍の超弩級が五月下旬に來京、つゞいて早大第二軍、内地實業團の覇王東鐵、職業野球チームの大御所巨人軍等々の來征で、かつてない陣容が堂々國都に乘り込むことに決定、之を邀え撃たんとする新京クラブの健闘は齊しくファン待望の的となつてゐる

徒然の一夜の妻は 十年前の女房

預けた實子の引取方で悶着

春の奇遇

偶然の神の戯れか、ひとり暮しの徒然に登樓した一夜の妻が十年前別れて以來音信不通の内縁の妻であつたと言ふ夢のやうな滿洲らしい實話がある、福岡縣直方市生れの潮水滿氏（三一）＝假名＝はさる大正十五年四月に同市で石原愛子さん（二二）＝假名＝と結婚したが當時潮水氏は外國航路汽船のコックで新婚の夢も冷えやらぬうちに盡きぬ別れを惜んで出帆歐洲の港から港へのマドロス生活に入つたまゝ、半歳待つたが音信もなく、離婚狀態となつて仕舞、翌昭和二年五月には長男武君さへ生れ出でたが親子二人の生活のため昭和三年二月には連子して同市岡田某氏ゝ許に二回目の同棲生活を始めた、どこまでも不遇な彼女は昭和九年七月に岡田との間柄も面白からず離婚となり母子　二人、その日から路頭に迷ふ悲しさに七つになつた愛兒は友人某に預け一昨年七月來京、寬城子料理屋濱乃家に酌婦稼ぎに身を沈め子供の養育費として十圓づゝを仕送つてゐたものであつた、一方潮水の方では外國航路船のコックをやめて昨年十月實兄經營の新京富士町二丁目某飲食店にコックとして働くことになつたが先月十日ごろ春宵の徒然に濱乃家に遊んでばつたり出會したのが十年前に別れてその生死さへ氣遣つてゐた元の我が妻の愛子であつたのに、大いに驚いたが、元々飽きも飽かれもせずに分れた女房故忽ち交情を

復活　撚を戻して結婚することになつたが心にかゝるのは、いま直方市の岡田氏方から小學校に通つてゐる旗子武君（一〇）で、この話を十年目に聽された潮水滿氏は見も知らぬ吾がいとし兒を一日一刻も早く抱いて名乘りたさに實子引取り方を相談し、直方の警察署に依頼し親子初對面の日を待ちあぐんではゐるが、一方育ての親の岡田氏方では金百圓を渡さねば子供はやれぬといつて聽き入れず目下双親の方では百圓はおろか子供片道旅費（割引運賃）廿圓の調達も漸くに出來た位で新京署に引取方を依頼して來たものである

愛婿のゐる新京へ 小林千代子突進（きんかめんのウタヒメがくる！）

飛行機で迎へる渡邊飛行士 勝太郎が結びの神

（毎年）來る〳〵でどうしてもおみこしを上げなかつた勝太郎姐さんが、今度愈々來滿を決定したに就ては、新京と東京に於ける若き男女二人の強き愛情が、遂に彼女を動かしたといふ微笑ましき挿話がある。その女とは勝太郎と同行する東京松竹技藝員花形歌手の小林千代子さん、男とは滿洲航空會社新京管區勤務の操縦士渡邊三千雄君（三〇）である。此二人は昨年十月十八日東京に於て結婚した許りの新夫婦で、しかも新婚後僅かに十日間十月二十八日には、渡邊君はもう新京詰となつて赴任し、二人は徒らに西と東と思ひを焦す身となつたのである此結婚には長い苦難の歴史がある。二人の戀の芽生えは千代子さんが女學校二年、渡邊君が中學三年の頃から始まつた。隣同士に住む二人は互ひに將來の幸福を夢みてゐたが、千代子さんが東京府立高女より東洋音樂學校と惠まれたる才能をグン〳〵延ばして行くに連れ

いつとはなしにギャップが出來た。

（失戀）の苦惱を癒す爲渡邊君は命がけの仕事を求めて飛行隊に志願した千代子さんが金假面の歌手で賣出し、音樂コンクールの候補となり「涙の渡り鳥」のレコードで全國を風靡し、それから今の松竹少女歌劇のスタとなるまでに、渡邊君は飛行五聯隊から航空本部に飛行士として勤務、滿洲事變には航空隊附として從軍名飛行士の名を謳はれ戰闘機の性能試驗中三百米の上空にて機が分離し突差の氣轉で不時着陸したがこの爲全治三ヶ月の重傷を負つたりして飛行特務曹長にまで昇進した、而し此間にも根強き愛の芽生えは枯れなかつた千代子さんの許へ花に寄る蜜蜂のやうに集まつて來る

（男性）も結局は只甘き蜜を吸はんが爲に過ぎないのを知つた彼女の心は「ナンダ女郎め、藝術家面してショッテヤがる」などロでは罵倒して憚らない軍人らしい渡邊君の胸に只管走つた渡邊君にも矢張り彼女以外に女はなかつた。かくしてあらゆる障害を突破して二人の愛は殆んど十五年目に結ばれたのである。その新婚の居る滿洲へ行きたいと千代子さんは女心の一筋に念じた。渡邊君にも思ひに變りない。其後、降つて湧いたのか今度の勝太郎と一諸に滿洲行の話である。それまでに結びの神の役目を買つて出た新京に於る某々氏たちの手で千代子さんの爲め獨唱會やオペラの計畫がされてゐたのだが、勝太郎とならそれに越したことはないと忽ち決定した。それと決すると千代子さん大喜びで

（未だ）腰をモヂ〳〵してゐる勝太郎を說付け、とう〳〵本決まりに話をまとめさしたのである。渡邊君はお手の飛行機で大連まで迎へに行かうとこれ又今から待兼ねてゐる。新京の春に咲く樂壇の蔭に美しい戀の花もまた目出度咲くわけである

春陽に芝草萠えて 新京競馬ひらく

第一日勝馬下馬評

競馬ファンを熱狂せしめる春季第一次競馬大會は今日午前十時五十五分から大房身競馬場で煙火の打揚げとゝもに第一競馬抽籤新馬九頭立（巨離二、二〇〇米）によつて花々しく火蓋は切つて落されるが土曜日のこととて觀衆は殺倒するであらう、第一日の豫想は大體次きの如くである

▲第一競馬はいづれも優勝候補の名馬揃ひで豫斷は許されず興味深いものがある

▲第二競馬は十頭立でレースは賑ひを呈し、眞弓（落合）寶石駒（東）旺盛（甲斐）の三頭が有望視されてゐる

▲第三競馬の方向變換競走は本年最初の試であるだけに興味深いものがある、寶洋（松本）瑞陽（甲斐）二、寶洋（松本）は抽斷できず大穴を出すのではないかとみられてゐる

▲第四競馬黑圓峰（松尾）若杉（濱崎）惠壽（上原口）劍が確定とされるも一走（東）妻（内田）が有望であるがこの競走は騎手の追ひ込みによるものゝ樣である

▲第五競馬大陸（田中）玄洋（白石）玄武（上田）麥久保）が有力

▲第六競馬公主嶺五月（谷尾）金勇（甲斐）英貫（東）以上三頭が確實とされてゐるが一天が穴となつてゐる

▲第七競馬新京雲風（有吉）千代駒（東郷）八千代（松本）

▲第八競馬はいづれも五分五分の勝負となるのでいづれとも許されぬ

▲第九競馬黑龍（城内）待月（上原口）新勝（梶浦）穴は金城（久保田）である

▲第十競馬丹生（松尾）有光（甲斐）が確實で林東（小田）が穴か

▲第十一競馬新義洲（上原口）大風（小田）天成（久保田）が確實であるも第二金幸（内田）も又許されず穴となるかも判らない

▲第十二競馬快力（上原口）第四天峰（落合）有田（東郷）が有力

▲第十三競馬十八頭立全く入賞の豫斷は許されない

▲第十四競馬天峰（落合）白縫（新原）春勇（久保田）の三頭が入賞確實

なほバス會社では大會期間中毎日午前九時三十分から十分毎に南廣場より臨時專用車を發車さす、此外四號線は驛前から衛戍病院前迄運轉す、臨時專用車の運賃は廿錢である

春裝濃厚の西公園に 驢馬君出現

ベビーゴルフ場跡でお相手

市民のオアシス西公園の入園者は日増しに多くなり公園事務所ではベンチやボートを塗りかへたり、花壇を繕へたり草花を植付ける等大童となつてゐるが、子供達待ち兼ねの驢馬さんも七頭お目見得し特別あつらへの乘鞍も甕ひこゝ數日中に可愛い坊ちやん孃ちやんのお相手をすることゝなつた、驢馬乘の場所は作年ベビーゴルフのあつた白楊林の中に隨圓型の馬場が設けられるので夏は涼しい木影にお伽の國が現出するわけだ、料金は馬場を三回廻つて五錢といふことになつてゐる

病氣を悲觀し 元藝妓催眠藥を嚥む

咲く花の喜びも待たずに病苦を氣にやみ自殺を圖つて死に損つた元藝者がある―蓬萊町四丁目居住元ダイヤ街某料亭藝者鈴木シヅ子（二五）＝假名＝は市内某所勤務特に名を秘すの某氏に落籍された果報者であるが藝妓稼ぎ中に病みついた肺結核が嵩じて靜養中であつたが、病氣は積る一方で癒えそうにもないのを悲觀して十七日午後一時半頃敷島通の某時計店で自殺をはかり催眠藥を多量嚥下し苦悶はじめたので蓬萊町の堀山醫院に擔ぎ込み、直ちに應急手當を施した結果一命はとり止めた

商業修學旅行團 歸途に就く

【上海十七日發國通】上海、蘇州の見學を終へた新京商業修學旅行の一行は元氣益々旺盛十七日午前十一時出帆の大連丸で上海發歸路に就いた

市内各町内會長 招魂祭諸行事を協議

來る三十日の新京招魂祭は例年以上に盛大にといふので各分擔委員は準備に大童となつてゐるが新京附屬地聯合町内會では十七日午後二時から地方事務所々長室に集つていろ〳〵具體的の打ち合せ協議會を催した、地方事務所側からは鯉沼地方係長、宇野公費主任、町内會側小松聯合町内會長を始め各町内會長が出席しいろ〳〵協議の結果當日は神社の祭典と同樣に附屬地全市民は休業して各戸洩れなく國旗と提灯を掲げ全市民挙つて忠靈塔に參拜すること、これに關する印刷物は數日中に區長から各戸に配付すること、日滿風揚大會の寄附の件等を決定し午後四時過ぎ散會した

春の花嫁奥地へ

北滿僻地で味氣ない獨身生活をする鐵路局の警乘さん達の懷に飛びこんで潤ひと希望ある生活を打ち立てやうと健氣にも玄海越へて十日午前九時新京着、同九時五分目的地に旅立つた花嫁御寮先發隊三十名の後をうけて同日午後十時四十五分今度は京濱線山市行四十名、同安達行二十名、大量六十名の花はずかしい花嫁さんたちが牽天經由で着京、いづれ劣らぬ夢と理想を抱いて同十一時發いそ〳〵と花婿います目的地に向つた

我等が瀧孃 今夕華やかに凱旋

第四回世界女子氷上選手權大會に出場華々しく活躍し世界女子第三位を獲得した瀧三七子孃は嚴父竹三郎氏とゝもに今日のアジアで晴れ〳〵しく歸京することになつた、歸京の報に接して新京體育聯盟を初め瀧後援會では名譽をかちえた同孃を盛大に迎へるため多數參集されたいと

大同公園賣店の 入札規程

國都建設局は大同公園内に特設すべき賣店並に寫眞館經營用地を左の通り入札するに決定借受希望者は來る四月二十二日までに申込む事となつてゐる

一、入札方法　競爭入札

二、申込及入札場所　國都建設局總務處庶務科

三、入札期日　四月二十四日午前十時

四、開札期日　同日午前十一時

五、特設賣店及寫眞館場所種別　面積　種目

甲一ヶ所　八〇平方米　賣店

乙一ヶ所　八〇平方米　賣店

丙一ヶ所　二〇平方米　寫眞

六、使用期日　五月一日より十月三十一日迄六ケ月間

七、使用料金　入札に依り最高額を採る

八、其他注意事項　一般入園者に對しては公園入場料金を徴收せず尚短艇釣魚其の他の遊覽施設を有す

樂土國防の第一線 「日系軍官の歌」募集

國防の第一線に立つて日夜討匪行にまた治安肅清のため粉骨碎身の努力を續けてゐる滿洲國軍の日系軍官の士氣を鼓舞し、その結束を强化するため、軍政部では「日系軍官の歌」を制定して軍の内外に普及する事となり、左記の要領に依つて、これを部内及び一般から懸賞募集することになつた

一、歌詞の内容

（イ）建軍の本義を宣揚すること

（ロ）滿洲國軍内の日系軍官の特殊的使命を强調し精神的結合を高揚すること

（ハ）勇壯活潑で士氣を鼓舞するもの

（ニ）滿洲國の風土精緒を織り込むこと

二、歌調　別に制限はないが出來得る丈歌ひ易いもの

三、募集期間　四月十五日から六月十五日まで

四、提出先　新京特別市北安路明倫街　軍政部軍事調査部

五、賞金

當選歌（一篇）　百圓

優秀歌（二篇）　二十圓

採用歌（若干）　薄謝

六、發表　七月一日附邦字新聞紙上

滿鐵の 財產評價完了

【大連國通】滿鐵の財產評價は先般來竹中委員長以下各委員で分科會を開き各部門別に報告書を纏めつゝあつたが此程完成し委員會の手を離れて松岡總裁に提出される事になつたが今回の財產評價の結果をみるに既報の如く建物其他の中浮動的不良財產約一億二千萬圓を切棄てて居るが土地其他は時價主義に基いて評價した爲これが値上りにより結局切棄額を低下して約二千萬圓の財產膨脹をみるに至つた、委員會では更に不良財產の精査を行ひ此超過額をも切棄額と膨脹額のバランスを取り結局帳簿面と大差なく總財產價格約十六億圓と評價してゐる

大連より長崎鹿兒島行

（毎十日目出帆）

九州への最短通路航路

千歲丸

大連發　四月二十日午後三時（九番バース出帆）

長崎着　四月二十二日正午

鹿兒島着　四月二十三日午前八時

	長崎	鹿兒島
一等	三二圓	三八圓
三等甲 寢臺室	一七圓	二〇圓
廣間室ソーファ附	一五圓	一八圓
廣間室	一四圓	一七圓
三等乙	一二圓	一五圓

日本郵船大連出張所　近海郵船代理店

實業協會支部 本城ビルに

日滿實業協會では去る六日新京公會堂に於て開かれた滿洲支部理事會に於て東京本部よりの希望に依り滿洲支部を大連より新京へ移す事に決定したので爾來事務所を物色中の處中央通り本城ビルの二階と決定、來る五月一日より愈々事務を開始する事となつた、支部常務理事は次の定期總會で正式決定するまで石崎新京商議會頭が事務代行をなす事となり常任幹事は藤商尾新京調理事が就任した

探偵小説 **殺人技師**（さつじんぎし）

森下雨村

茅場棠水畫

（講上映）

七三 絹代の活躍（一）

絹代の質問に對して、簡單に、

「さうですね」

と、答て、ちよつと、探るやうな眼で、絹代を見たホテルの女帳番は、つゞけて、

「さう仰有れば、二十四號のお客様が、いつもあなたが仰有るやうな服裝をしてゐましたよ。黒い縁取をした海老茶色の外套に山高帽——えゝ、間違ひはありません。一寸、變つてゐましたから、私もはつきり覺えてゐるのです。」

「そして、その方、まだこちらにゐらつしやるの？」

絹代は、あまりにわけもないこの發見に、思はず意氣込んで、さう訊ねた。

「いゝえ、ゐらつしやいません。數日前にこゝをお引拂ひになつたやうです。」

「さう。」

絹代は一寸失望したが、考へて見れば犯人が何時までも、現場附近にゐないのは當然の話だつたのみならず、逸早くこのホテルから姿を消したこと、それ自身が、つまりその男の有罪を物語つてゐるやうなものではないか。

「濟みませんが、その方のお名前はわかりませんでせうか。」

「さうですね。」

女帳番は熱心な相手の様子に、いさゝか氣をのまれた形で、帳場の方へ入つていつた。

帳場にゐた若い支配人は、女帳番の質問をきくと、不思議さうに眉をひそめたが、それが、彼のすぐ後にゐる若い美人の頼みであることを知ると、急に愛想のいゝ顔を見せて、

「えゝ——と、二十四號のお客様ですね。あゝ、わかりましたよ。内海耕太郎といふ方です。四月十九日の夜、おそくこゝをお引拂ひになつたやうですね。」

「四月十九日ですつて？」

それを聞くと、絹代は思はず椅子の上で跳び上つた。四月十九日といへば、あの羽磨子が殺された晩ではないか。

「あの、恐れ入りますが、どなたかその方のことを、もつとよく憶えてゐる方がありませんかしら。一寸、わけがあつて、その方の住所を是非伺ひたいのでございますが——。」

「では、受持ちのボーイを呼んで上ませう。」

幸ひ、受持ちのボーイは、よく内海耕太郎の事を記憶してゐた。

「さうですね。二週間ばかり滯在してゐられましたかしら。いつも黒い縁をとつた海老茶地の外套と山高帽といふお姿でしたよ。年齡は二十七八でせうか。十九日の晩ですか。——さあ、それが不思議なんでして——たしか九時半頃でしたか、ホテルをお出かけになつて、半時間も經たないうちに歸つて見えられて、大慌てにあわてゝ、荷物もそこ〳〵お引き拂ひになりましたがねえ。」

さういつてから、ボーイは急に聲を落して、ぢつと絹代の顔をのぞき込みながら、

「貴女、あの女優殺しのことでいらしたのではないのですか？」

「女優殺しですつて？」絹代は思はずぎよつとして、さういつたが、すぐ早口に附けたした。

「どうして、あなたはさうお考へになりますの？」

「やはりさうだつたのですね」

ボーイは絹代の興奮した顔を、上眼使ひに眺めながら、

「いや、私は前から少し妙だと思つてゐたのです。といふのは、新聞を見たり、こゝへ調べに來られた警察の方などのお話を聞くと、あの羽磨子といふ女優殺しの犯人の服裝が、今お話した内海さんとそつくりなんですからね。」